Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

コンピュータについて
Microsoft® Windows® XP について
Dell™ QuickSet 機能
キーボードとタッチパッドの使い方
ディスプレイの使い方
バッテリーの使い方
モジュールベイの使い方
電力の管理
ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）への接続
PC カードの使い方
スマートカードの使い方
ノートブックコンピュータを携帯するときは
パスワードについて
問題の解決
Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方
コンピュータのクリーニング
ソフトウェアの再インストール
部品の拡張および交換
セットアップユーティリティの使い方
ASF（Alert Standard Format）
困ったときは
仕様
付録
用語集

モデル PP05L

左側のリンクをクリックすると、コンピュータの機能や操作方法についての説明がご覧になれます。お使いのコンピュータに含まれるその他のマニュアルについては、「情報の検索方法」を参照してください。

メモ、注意、警告

メモ： コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意： ハードウェアの損傷またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。

警告： 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表は、「用語集」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

モデル PP05L

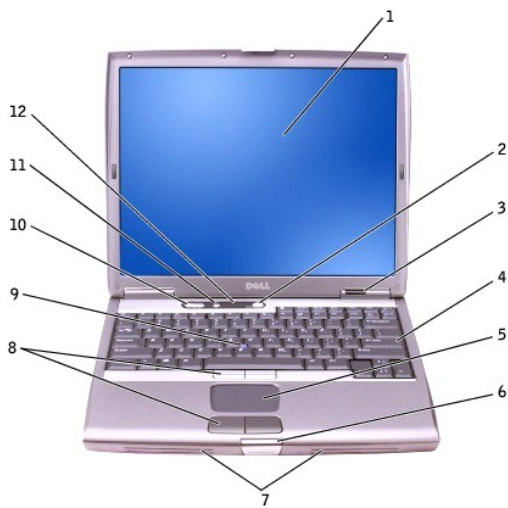
2009 年 9 月　　P/N 6T524　　Rev. A06

目次に戻る

コンピュータについて

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- 正面図
- 左側面図
- 右側面図
- 背面図
- 底面図

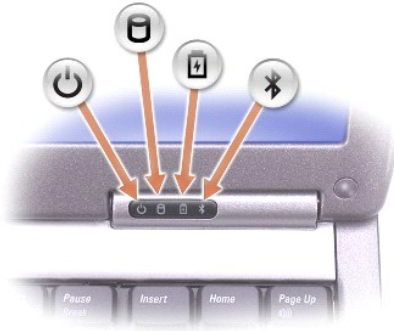
正面図

1	ディスプレイ	7	スピーカー
2	電源ボタン	8	トラックスティックボタン / タッチパッドボタン
3	デバイスステータスライト	9	トラックスティック
4	キーボード	10	ボリュームコントロールボタン
5	タッチパッド	11	ミュートボタン
6	ディスプレイラッチ	12	キーボードステータスライト

ディスプレイ — ディスプレイの詳細については、「ディスプレイの使い方」を参照してください。

電源ボタン — 電源ボタンを押してコンピュータに電源を入れるか、または省電力モードを終了します。

注意：データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

デバイスステータスライト

⏻	コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードに入っている際は点滅します。
🛢	コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。 **注意：データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。**
🔋	バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。
✱	Bluetooth™ が有効な場合、点灯します。Bluetooth を有効または無効にするには、<Fn><F2> を押します。 **メモ：** Bluetooth は、コンピュータのオプション機能です。コンピュータに Bluetooth 機能をつけた場合にのみ、 アイコンがオンになります。詳細については、Bluetooth ワイヤレステクノロジに付属のマニュアルを参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは以下のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了

コンピュータをバッテリーでお使いの場合、 のライトは以下のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

キーボード — キーボードにはテンキーパッドだけでなく、Microsoft® Windows® のロゴキーも含まれています。お使いのコンピュータがサポートするショートカットキーについては、「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。

タッチパッド — マウスの機能と同じように使うことができます。詳細については、「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。

ディスプレイラッチ — ディスプレイを閉じておくために使用します。

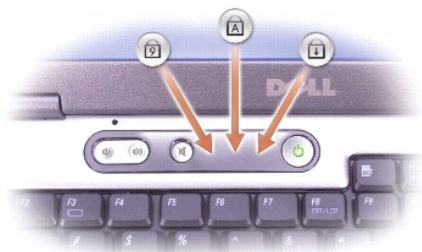
スピーカー — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、ボリュームコントロールボタン、ミュートボタン、または音量調節のショートカットキーを押します。詳細については、「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。

トラックスティックボタン / タッチパッドボタン — マウスの機能と同じように使うことができます。詳細については、「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。

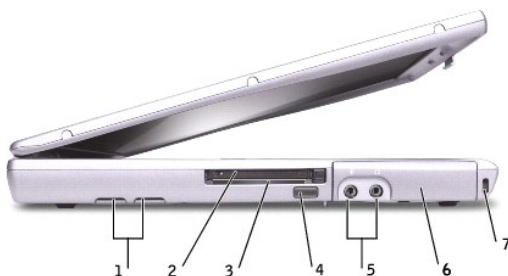
トラックスティック — マウスの機能と同じように使うことができます。詳細については、「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。

ボリュームコントロールボタン — ボタンを押して、音量を調節します。

ミュートボタン — ボタンを押して、音を消します。

キーボードステータスライト

キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

🔒9	テンキーパッドが有効になると点灯します。
🔒A	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
🔒	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

左側面図

1	通気孔（2）	5	オーディオコネクタ（2）
2	PC カードスロット	6	ハードドライブ
3	スマートカードスロット	7	セキュリティケーブルスロット
4	赤外線センサー		

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

メモ： コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

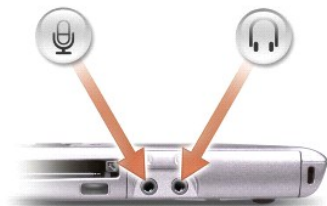
警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境に Dell™ コンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

PC カードスロット — モデムまたはネットワークアダプタなどの PC カードを 1 枚サポートします。コンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。詳細については、「PC カードの使い方」を参照してください。

スマートカードスロット — スマートカード を 1 枚サポートします。詳細に関しては、「スマートカードの使い方」を参照してください。

赤外線センサー — ケーブルで接続せずにコンピュータから他の赤外線互換デバイスへファイルを転送することができます。

コンピュータがお手元に届いたときは、赤外線センサーは無効になっています。セットアップユーティリティを使って、赤外線センサーを有効にします。データ転送の詳細については、Windows ヘルプのヘルプとサポートセンターまたは赤外線互換デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

オーディオコネクタ

🎤 のコネクタにはマイクを接続します。	
🎧 のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。	

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

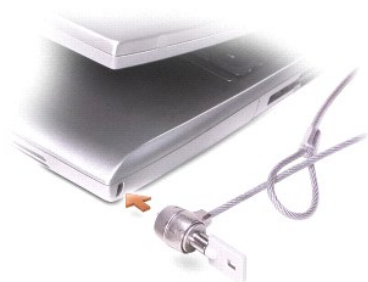
セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意：盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。

右側面図

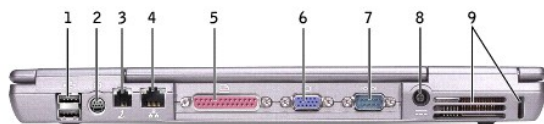
1	セキュリティケーブルスロット
2	モジュールベイ
3	デバイスリリースラッチ

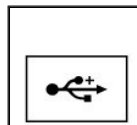
セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意：盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。

モジュールベイ — オプティカルドライブや Dell TravelLite™ モジュールなどのデバイスをモジュールベイに取り付けることができます。詳細については、「モジュールベイの使い方」を参照してください。

デバイスリリースラッチ — モジュールベイデバイスを取り外すのに使用します。手順については、「モジュールベイの使い方」を参照してください。

背面図

警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータが稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

1	USB コネクタ（2）	6	ビデオコネクタ
2	S ビデオ TV 出力コネクタ	7	シリアルコネクタ
3	モデムコネクタ（RJ-11）（オプション）	8	AC アダプタコネクタ
4	ネットワークコネクタ（RJ-45）	9	通気孔
5	パラレルコネクタ		

USBコネクタ

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブケーブルを使って、オプションのフロッピードライブを直接 USB コネクタに接続することもできます。

S ビデオ TV 出力コネクタ

	コンピュータを TV に接続します。詳細については、「コンピュータのテレビへの接続」を参照してください。

モデムコネクタ(RJ-11)(オプション)

	オプションの内蔵モデムを購入された場合、電話回線をモデムコネクタに接続します。 モデムの使い方の詳細については、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。「情報の検索方法」を参照してください。

ネットワークコネクタ(RJ-45)

注意: ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

	コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある緑および黄色のライトは、ワイヤ / ワイヤレスネットワーク通信の活動を示します。 ネットワークアダプタの使い方の詳細については、コンピュータに付属しているデバイスのユーザーズガイドを参照してください。「情報の検索方法」を参照してください。

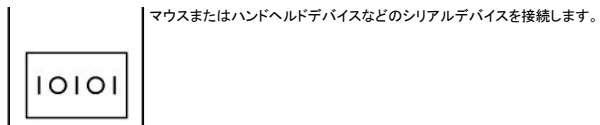
パラレルコネクタ

	プリンタなどのパラレルデバイスを接続します。

ビデオコネクタ

	外付けモニターを接続します。詳細については、「ディスプレイの使い方」を参照してください。

シリアルコネクタ

マウスまたはハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスを接続します。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。

AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

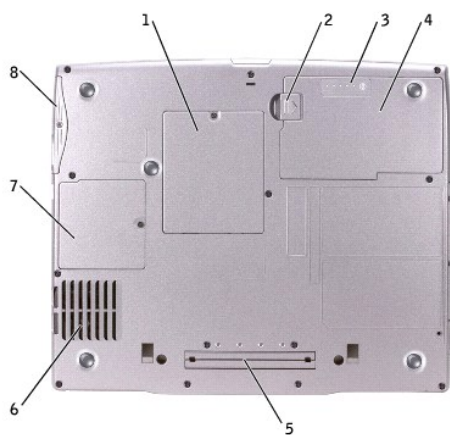
警告：AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意：AC アダプタケーブルをコンピュータから取り外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

メモ： コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

底面図

1	メモリモジュールカバー	5	ドッキングデバイススロット
2	バッテリーベイリリースラッチ	6	ファン
3	バッテリー充電ゲージ	7	ミニ PCI カードカバー
4	バッテリー	8	ハードドライブ

メモリモジュールカバー — メモリモジュールの実装部のカバーです。「部品の拡張および交換」を参照してください。

バッテリーベイリリースラッチ — バッテリーを取り外すのに使用します。「バッテリーの使い方」を参照してください。

バッテリー充電ゲージ — バッテリー充電の情報を提供します。「バッテリーの使い方」を参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。「バッテリーの使い方」を参照してください。

ドッキングデバイススロット — ドッキングデバイスをお使いのコンピュータに取り付けます。詳細については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

ファン — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

メモ: コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

ミニ PCI カードカバー — ミニ PCI カードを収容する実装部のカバーです。「部品の拡張および交換」を参照してください。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

目次に戻る

目次に戻る

付録

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- Macrovision 製品通知
- Energy Star® 対応
- 保証と返品について

Macrovision 製品通知

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision Corporation に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

Energy Star® 対応

特定の Dell コンピュータは、省エネコンピュータを目指した EPA（米国環境保護局）が規定する要件を満たしています。お使いのコンピュータのフロントパネルに Energy Star® マークが貼付されている場合は、発送時の構成がこれらの基準に準拠しており、コンピュータの Energy Star® 電源管理機能が有効になっています。

メモ: Energy Star® マークの貼付された Dell コンピュータは、デルから出荷される時点の構成が、Energy Star® 規格に準拠していることが保証されています。発送時の構成を変更すると（追加の拡張カードやドライブ等の取り付けによって）、消費電力が EPA の Energy Star® コンピュータプログラムによって設定される制限を越える可能性があります。

Energy Star® マーク

EPA の Energy Star® コンピュータプログラムは、EPA とコンピュータ製造メーカーの共同事業であり、エネルギー効率の高いコンピュータ製品を促進することにより大気汚染の減少を目指しています。EPA では、Energy Star® コンピュータ製品を使用することによって、コンピュータユーザーの年間電気料が最高で 20 億ドル節約されると予測しています。この電気使用量の節減によって、温室効果の一番の原因となる二酸化炭素の発生、および酸性雨の主要な原因である二酸化硫黄と窒素酸化物の発生を減少させることができます。

また、夜間および週末などコンピュータを長時間使用しないときに電源を切ることによって、電気使用量とそれによる悪影響を減少させることができます。

保証と返品について

『サービス＆サポートのご案内』をご覧ください。

目次に戻る

目次に戻る

ASF（Alert Standard Format）

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

ASF は、「オペレーティングシステム確立以前」または「オペレーティングシステム不在」警告技術を指定する DMTF 管理標準です。オペレーティングシステムがスリープ状態にあるとき、またはコンピュータの電源が切れているときに、セキュリティの問題および障害が発生している可能性があるという警告を発するよう設定されています。ASF は、以前のオペレーティングシステムの不在警告テクノロジに代われるものとして設計されています。

お使いのコンピュータは、以下の ASF 警告およびリモート機能をサポートします。

警告	説明
Chassis Intrusion – Physical Security Violation/Chassis Intrusion – Physical Security Violation Event Cleared	ドッキングデバイスが開けられたため、PCI スロットはセキュリティが確保されていません。
Failure to Boot to BIOS	起動時に BIOS のロードが完了しませんでした。
System Password Violation	システムパスワードが無効です（無効なパスワードが 3 回入力されると警告が発せられます）。
Entity Presence	システムが存在していることを確認するために、ハートビートが定期的に送信されています。

デルの ASF 導入の詳細については、デルサポートウェブサイト **suppoprt.jp.dell.com** にある『ASF for Dell Portable Computers』および『ASF Administrator's Guide for Dell Portable Computers』を参照してください。

目次に戻る

目次に戻る

バッテリーの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- バッテリーの性能
- バッテリーの充電チェック
- バッテリーの充電
- バッテリーの取り外し
- 予備バッテリーの取り外しおよび取り付け
- バッテリーの取り付け
- バッテリーの保管

バッテリーの性能

メモ： お使いのコンピュータのデル品質保証の詳細に関しては、『サービス＆サポートのご案内』をご覧ください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータをご使用の際は、常にメインバッテリーを取り付けてください。コンピュータがコンセントに接続されていない場合、バッテリーを使用してコンピュータに電力を供給します。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

メモ： バッテリー容量（バッテリーの充電が保持されている時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。

- オプティカルドライブ、特に DVD ドライブおよび CD-RW ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、PC カード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合

コンピュータの底面でバッテリーの充電チェックをすることができます。バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電源管理のオプションを設定することもできます。

メモ： バッテリーの動作時間を最大にする詳細に関しては、「電力の管理」を参照してください。

メモ： CD に書き込みをしている際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、Dell™ コンピュータ専用です。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

警告：バッテリーを家庭用のごみと一緒に廃棄しないでください。不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話 044-556-3481）へお問い合わせください。

警告：バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷させたりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft® Windows® 電源メーターウィンドウと アイコン、バッテリー充電ゲージと機能ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

セカンドバッテリーの充電をチェックする詳細に関しては、「モジュールベイの使い方」を参照してください。

Dell QuickSet バッテリメーター

QuickSet **バッテリメーター** を表示するには、<Fn><F3> を押します。

バッテリメーター 画面は、お使いのコンピュータのプライマリバッテリーおよびセカンダリバッテリーの、充電レベルおよび充電完了時間を表示します。

メモ: お使いのドッキングデバイスを使って、コンピュータのバッテリーを充電することができます。ただし、ドッキングデバイスのバッテリーが、ドッキングデバイスまたはコンピュータに電力を供給するわけではありません。

また、コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、**バッテリメーター** 画面には、充電レベルおよびドッキングデバイスバッテリーの現在の状況を表示する **バッテリのドッキング** タブが含まれます。

バッテリメーター 画面には、以下のアイコンが表示されます。

	• コンピュータまたはドッキングデバイスが、バッテリー電源で動作している • バッテリーが切れているまたはアイドル状態
	• コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している • バッテリーの充電中
	• コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している • バッテリーが切れている、アイドル状態、または充電中

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

Microsoft Windows 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。**電源メーター** タブの詳細に関しては、「電力の管理」を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーの充電ゲージにあるボタンを押すと、充電レベルインジケータライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 %を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 %なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

機能ゲージ

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーは充電機能またはバッテリー機能を失います。バッテリー機能を確認するには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押します。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 %以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 %以下になっていますので、バッテリーを交換した方が良いかもしれません。バッテリーの動作時間の詳細については、「仕様」を参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告

注意： **データの損失およびデータ破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続するか、またはモジュールベイにセカンドバッテリーを取り付けてください。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。**

バッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリーの約 90 ％を消費した時点で発せられます。コンピュータが 1 回ビープ音を発すると、バッテリーの稼動時間が最低限になったことを示しています。その間、スピーカーは定期的にビープ音を鳴らします。バッテリーを 2 つ取り付けている場合は、バッテリーの低下を知らせる警告は、両方のバッテリーを合わせた充電残量が 90 ％消費されたことを意味します。バッテリーの充電残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。バッテリーの充電低下を知らせる警告の詳細に関しては、「電力の管理」を参照してください。

バッテリーの充電

メモ： 完全に切れてしまったバッテリーを AC アダプタで充電するには、コンピュータの電源が切れている場合で約 1 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーはコンピュータに取り付けたままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路が過剰充電を防ぎます。

コンピュータをコンセントに接続していたり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーの温度が下がるまで充電されない場合があります。

バッテリーの問題の解決の詳細については、「電源の問題」を参照してください。

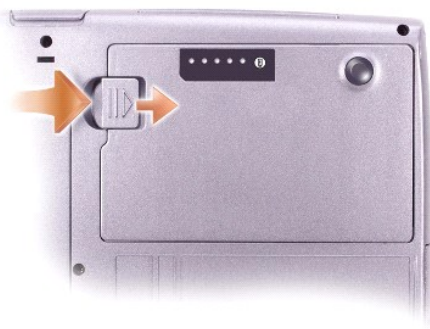
バッテリーの取り外し

セカンドバッテリーの取り外しの詳細については、「モジュールベイの使い方」を参照してください。

警告： **次の手順を実行する前に、コンピュータの電源を切り、コンピュータをコンセントから抜いて、モデムを電話ジャックから抜いてください。**

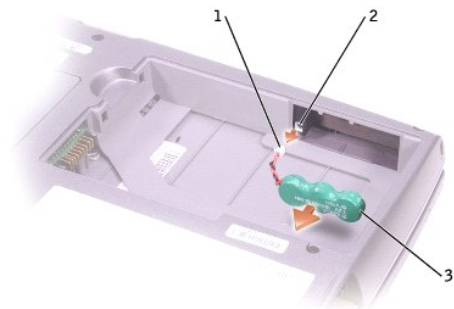
警告： **コンピュータでこの手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。**

注意： **コンピュータをスタンバイモードにしてバッテリーを交換する場合は、90 秒以内にバッテリーを交換してください。それ以上経過するとコンピュータがシャットダウンし、保存されていないデータは失われます。**

1. コンピュータの電源を切り、コンピュータをコンセントから抜いて、さらに電話ジャックから抜いてあることを確認します。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、ベイからバッテリーを取り外します。

予備バッテリーの取り外しおよび取り付け

警告： **コンピュータでこの手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。**

1. バッテリーを取り外します。
2. 予備バッテリーカバーを取り外します。

3. 予備バッテリーを実装部から引き出して、予備バッテリーケーブルをコネクタから外します。

1	予備バッテリーケーブル
2	コネクタ
3	予備バッテリー

4. バッテリーを取り付けるには、予備のバッテリーコンパートメントのコネクターに予備のバッテリーケーブルを接続します。
5. 予備バッテリーを実装部に置き、予備バッテリーカバーを取り付けます。

バッテリーの取り付け

リリースラッチがカチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをベイにスライドします。

セカンドバッテリーの取り付け手順の詳細に関しては、「モジュールベイの使い方」を参照してください。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電してください。

目次に戻る

[目次に戻る]

モジュールベイの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- モジュールベイについて
- セカンドバッテリーの充電チェック
- コンピュータの電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け
- コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け
- CD および DVD の使い方

モジュールベイについて

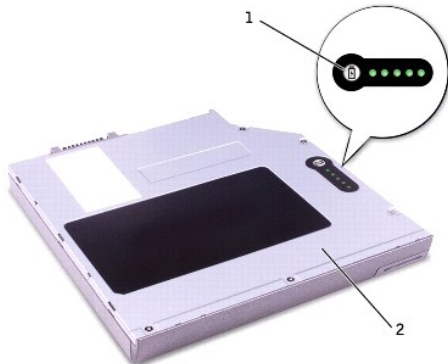
フロッピードライブ、CD ドライブ、CD-RWドライブ、DVD ドライブ、CD-RW/DVD ドライブ、DVD+RW、セカンドバッテリー、またはセカンドハードドライブなどのデバイスをモジュールベイに取り付けることができます。

メモ： セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

お使いの Dell™ コンピュータには、出荷時にオプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

セカンドバッテリーの充電チェック

メモ： バッテリー容量（バッテリーの充電が保持されている時間）は、時間の経過に従って短くなります。 バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

セカンドバッテリーを挿入する前に、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを押すと充電量を示すランプが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 %を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 %なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

1	バッテリー充電ゲージのステータスボタン
2	セカンドバッテリー（底部）

コンピュータの電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け

メモ： デバイスネジを取り付けていない場合、ドッキングデバイスに接続されている間でも、コンピュータの動作中にデバイスを取り外したり取り付けたりすることができます。

警告：コンピュータでこの手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。

お使いのコンピュータには出荷時に、オプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

メモ： セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

デバイスネジが取り付けられていない場合

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

1. デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。

1	デバイスリリースラッチ

2. リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、モジュールベイからデバイスを取り外します。

3. ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が得られるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスとコンピュータの端が揃うようにします。

デバイスネジが取り付けられている場合

1. 開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してからコンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3. ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。
4. 1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。

1	デバイスリリースラッチ

5. デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。
6. リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、モジュールベイからデバイスを取り外します。

注意：デバイスをモジュールベイに取り付けてから、コンピュータをドッキングデバイスに接続して、コンピュータの電源を入れてください。

7. ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が得られるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスとコンピュータの端が揃うようにします。
8. ドライブネジを取り付けます。
9. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け

メモ： デバイスネジが取り付けられていない場合、コンピュータが動作していて、ドッキングデバイスに接続されている間でも、デバイスを取り外したり取り付けたりすることができます。

警告：コンピュータでこの手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。

お使いのコンピュータには出荷時に、オプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

メモ： セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

デバイスネジが取り付けられていない場合

Microsoft® Windows® XP

1. タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。
2. **停止** をクリックして、デバイスが停止したことをオペレーティングシステムが知らせるまで待ちます。
3. 取り外すデバイスをクリックし、**停止** をクリックします。

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

4. デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。

1	デバイスリリースラッチ

5. リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、モジュールベイからデバイスを取り外します。

6. ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が持てるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスとコンピュータの端が揃うようにします。Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。
7. 必要に応じて、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

Windows 2000

1. タスクバーにある **ハードウェアの取り外しまたは取り出し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。
3. デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。

1	デバイスリリースラッチ

4. リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、モジュールベイからデバイスを取り外します。

5. ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が得られるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスとコンピュータの端が揃うようにします。
6. オペレーティングシステムが新しいデバイスを認識したら、**閉じる** をクリックします。

デバイスネジが取り付けられている場合

Windows XP

1. タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外すデバイスをクリックし、**停止** をクリックします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続(ドッキング)されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

4. 1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。

1	デバイスリリースラッチ

5. デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。
6. リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、モジュールベイからデバイスを取り外します。

7. ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が得られるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスとコンピュータの端が揃うようにします。Windows XP は

自動的に新しいデバイスを認識します。

8. 必要に応じて、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

Windows 2000

1. タスクバーにある **ハードウェアの取り外しまたは取り出し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。
3. 1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。

1	デバイスリリースラッチ

4. デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。
5. リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、モジュールベイからデバイスを取り外します。

6. ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が得られるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスとコンピュータの端が揃うようにします。
7. オペレーティングシステムが新しいデバイスを認識したら、**閉じる** をクリックします。

CD および DVD の使い方

CD または DVD トレイの使い方

注意：ドライブのトレイを開閉するときは、トレイを押し下げないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。

注意：CD または DVD を再生している場合、コンピュータを動かさないでください。

1. ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
2. トレイを引き出します。
3. ディスクをラベルの付いている面を上にしてトレイの中央に置きます。

注意：ディスクスがスピンドルにきちんと収まっていることを確認してください。きちんと収まっていない場合、ドライブトレイ、CD または DVD が正常に機能しません。

4. ディスクをスピンドルにしっかりとはめ込みます。

1	取り出しボタン

5. トレイをドライブに押し戻します。

メモ: 別のコンピュータに付属しているモジュールベイをお使いの場合、DVD の再生やデータの書き込みに必要なドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、『Drivers and Utilities CD』を参照してください。

お使いのコンピュータと一緒に DVD ドライブまたは CD-RW/DVD コンボドライブをご購入された場合、お使いのコンピュータで DVD が再生できます。お使いのコンピュータと一緒に CD-RW または CD-RW/DVD コンボドライブをご購入された場合、お使いのコンピュータで空の CD にデータを書き込むことができます。

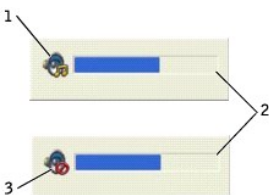
CD または DVD の再生の詳細に関しては、CD プレーヤーまたは DVD プレーヤーの **ヘルプ** をクリックしてください（利用可能な場合）。

ボリュームの調整

メモ: スピーカーが無音（ミュート）に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **エンターテイメント**（または **マルチメディア**）とポイントして、**ボリュームコントロール** をクリックします。
2. **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールのオプションの詳細については、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

音量メーター にミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーにある アイコンを右クリックするか、ボリュームコントロールボタンをクリックして、画面上の **音量メーター** を有効または無効にします。

1	ボリュームアイコン
2	**音量メーター**
3	ミュートアイコン

メモ: デフォルトで、**音量メーター** は、画面の右下角に表示されます。メーターをクリックしたままドラッグして新しい場所に移動できます。それ以降、メーターは新しい場所に常に表示されます。

メーターが有効の場合、音量を調節するにはボリュームコントロールボタンを使用するか、または以下のキーを押します。

- 音量を上げるには、<Fn><Page Up> を押します。
- 音量を下げるには、<Fn><Page Down> を押します。

- 音量をミュートするには、<Fn><End> を押します。

QuickSet の詳細については、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
4. **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックアンドドラッグして設定を **1024 × 768 ピクセル** に変更します。
5. **画面の色** のドロップダウンメニューをクリックして、**中（16 ビット）** をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **画面** アイコンをダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。
3. **画面の領域** にあるつまみをクリックして、設定を **1024 × 768 ピクセル** に変更します。
4. **色** のドロップダウンメニューをクリックして、**High Color（16 ビット）** をクリックします。
5. **適用** をクリックします。
6. **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

目次に戻る

コンピュータのクリーニング

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- コンピュータとキーボード
- ディスプレイ
- タッチパッド
- フロッピードライブ
- オプティカルメディア

コンピュータとキーボード

1. お使いのコンピュータをシャットダウンし、取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
2. 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。
3. 掃除機のブラシを慎重に使って、コンピュータのスロット部分や穴の開いている部分、およびキーボード上のキーの間のゴミを取り除きます。

注意：コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。LCD 専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

4. 水または LCD 用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でコンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

ディスプレイ

注意：コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。LCD 専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

1. お使いのコンピュータをシャットダウンし、取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
2. 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。
3. 水または LCD 用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でディスプレイをきれいになるまで拭きます。

タッチパッド

1. お使いのコンピュータをシャットダウンし、取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
2. 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。
3. 水で湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

フロッピードライブ

フロッピードライブをクリーニングする際は、市販のクリーニングキットのみを使用してください。これらのキットには、通常の使用時にドライブヘッドに付いた汚れを落とすように前処理されたフロッピーディスクが入っています。

オプティカルメディア

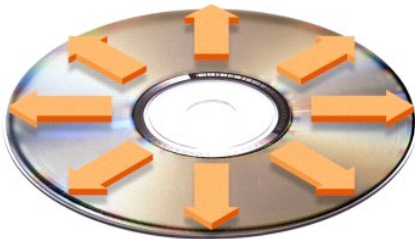
注意：ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質の低下がみられる場合、ディスクを掃除します。

1. ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

注意：円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

2. 柔らかくて乾いた、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中心から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

目次に戻る

目次に戻る

Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合
- Dell Diagnostics（診断）プログラムの特徴
- Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータの主要コンポーネントやデバイスが正しく機能しない場合、コンポーネントが故障している可能性があります。Dell™ コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「問題の解決」にあるチェック事項を実行し、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行すると、デルテクニカルサポートにお問い合わせにならなくてもご自分で問題を解決することができます。

コンピュータに関する詳しい知識をお持ちで、どのコンポーネントをテストする必要があるかわかる場合は、該当する診断テストグループまたはサブテストを選択してください。どのように診断テストを始めたらよいかわからない場合は、「Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動」を参照してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムの特徴

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、専用装置を使用したり、データを破壊したりする心配なく、コンピュータのハードウェアを調べることができます。診断プログラムを使用することで、お使いのコンピュータの動作がより確かなものになります。また、ご自身で解決できない問題の場合、診断テストの結果は、デルにお問い合わせになった際に、デルのサポート担当者に重要な情報を提供します。

注意： Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ専用です。その他のコンピュータでこのプログラムを使用すると、コンピュータに間違った結果や、エラーメッセージが表示されることがあります。

また、診断テストグループやサブテストには、以下の特徴があります。

- 1 つまたはすべてのデバイスのエクスプレステスト、全体テスト、またはカスタムテストを実行できるオプション
- 起きている問題の症状に基づいたテストを選択できるオプション
- テストグループまたはサブテストを繰り返す回数を選択できるオプション
- テスト結果を表示する機能
- エラーが検出された場合にテストを一時的に中断するオプション、または最大エラー数に達したときにテストを終了するオプション
- テストとデバイスについて説明したオンライン Help 画面
- テストグループまたはサブテストが正常に終了したかどうかを知らせるステータスメッセージの表示
- 問題が検出された場合のエラーメッセージの表示

Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブ上の非表示診断ユーティリティパーティションにあります。

メモ： コンピュータに画面が表示されない場合は、デルにお問い合わせください。

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。

メモ： 画面上に何も表示されない場合、ミュートボタンを押したまま、（F12 の代わりに）電源ボタンを押して、Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。**Diagnostics** をハイライト表示して <Enter> を押す操作は必要ありません。自動的に起動前システムアセスメントが実行されます。

4. コンピュータの電源を入れます。DELL™のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。ここで時間をおきすぎて Microsoft® Windows® のロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

5. 起動デバイス一覧が表示されたら、**Diagnostics** をハイライト表示して <Enter> を押します。

   コンピュータが起動前システムアセスメントを実行し始め、内蔵された一連の診断プログラムが、システム基板、キーボード、ハードドライブ、およびディスプレイの初期テストを実行します。

   - このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
   - コンポーネントに障害が検出された場合、コンピュータは停止し、ビープ音を発します。システムアセスメントを停止してオペレーティングシステムを再起動するには、<N> を押します。次のテストを続けるには <Y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには <R> を押します。
   - 起動前システムアセスメント中に障害が検出された場合、エラーコードが表示されます。Dell Diagnostics（診断）プログラムを続ける前に、デルにお問い合わせください。
   - 診断ユーティリティパーティションが検出されなかったというメッセージが表示される場合、『Drivers and Utilities CD』から画面に表示された手順に従って、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

   起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、 `Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue.`（Dell 診断ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。）というメッセージが表示されます。

6. いずれかのキーを押して、ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。

7. Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、適切なオプションのボタンをクリックします。

メモ： 各画面のタイトルバーには、コンピュータのサービスタグが表示されます。

オプション	**機能**
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10～20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に **Express Test** を実行すると、問題をさらに素早く特定する可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	問題の症状に基づいたテストを選択することができます。最も一般的な症状を一覧表示します。

8. テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。エラーが解決できない場合、デルにお問い合わせください。

9. **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	**機能**
Results	テストの結果および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

10. テストが終了したら、画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了してコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

目次に戻る

目次に戻る

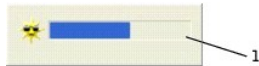
ディスプレイの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- 輝度の調整
- 画面モードの操作
- 画面解像度の設定

輝度の調整

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、該当するディスプレイのショートカットキーを使って、輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

Dell QuickSet の **輝度メーター** は、現在の輝度の設定をディスプレイに表示します。タスクバーにある アイコンを右クリックして、画面上の **輝度メーター** を有効または無効にします。

1	**輝度メーター**

メモ: デフォルトで、**輝度メーター** は画面の右下角に表示されます。メーターをクリックしたままドラッグして新しい場所に移動できます。それ以降、メーターは新しい場所に常に表示されます。

メモ: 輝度のショートカットキーは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターには影響はありません。お使いのコンピュータが **CRT** モードのみに設定されていて、輝度レベルを変更しようとすると、**輝度メーター** は表示されますが、モニターの輝度レベルは変更されません。

QuickSet のタスクバーメニューから **輝度メーター** を有効または無効にできます。メーターが有効の場合、以下のキーを押して輝度を調節します。

- <Fn> と上矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が下がります。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

画面モードの操作

外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、ディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押すと、画面モードの表示を内蔵ディスプレイのみ、内蔵ディスプレイと外付け CRT モニターの同時表示、または外付け CRT モニターのみ、内蔵ディスプレイと外付け DVI モニターの同時表示、または外付け DVI モニターのみに切り換えることができます。

画面解像度の設定

特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオコントローラとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされていなければなりません。

デフォルトのディスプレイ設定を変更する前に、後で参照できるようその設定を控えておいてください。

メモ: プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。

ディスプレイのサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、選択した設定に最も近いものに自動的に調節されます。

メモ: 解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータはパンモードに入ります。パンモードでは、画面が完全に表示されないことがあります。たとえば、通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。画面の見えない部分を表示するには、タッチパッドまたはトラックスティックを使用して、パンを上下左右に動かします。

注意 : リフレッシュレートをサポートしていない外付けモニターを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニターのリフレッシュレートを調整する前に、モニターのユーザーズガイドを参照してください。

Microsoft® Windows® XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. **作業を選びます** で、変更したい項目をクリックします。または **コントロールパネルを選んで実行します** で **画面** をクリックします。
4. **画面の色** および **画面の解像度** で別の設定にしてみます。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックして **設定** をポイントし、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **画面** アイコンをダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。
3. **色** および **画面の領域** で別の設定にしてみます。

目次に戻る

目次に戻る

ソフトウェアの再インストール

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- ドライバおよびユーティリティの再インストール
- ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決
- Microsoft® Windows® システムの復元の使い方
- Windows® XP の再インストール
- Windows 2000 の再インストール

ドライバおよびユーティリティの再インストール

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがあらかじめインストールされているので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

注意：『Drivers and Utilities CD』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも収録されている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに適切なものであることを確認してください。

ワイヤレス通信および DVD ドライブなどオプションのデバイスのドライバを再インストールするには、これらのデバイスに付属している CD およびマニュアルが必要になる場合があります。

注意：デルサポートサイト（suppoprt.jp.dell.com）および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

『Drivers and Utilities CD』からドライバやユーティリティを再インストールするには、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

   ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合は Microsoft® Windows® エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面に従って続行します。

3. ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティの希望の言語（利用可能な場合）を選択します。

   「Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます」画面が表示されます。

4. **次へ** をクリックします。CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。

   CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム**、および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

   コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

5. 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。
6. **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

   インストール ボタンが表示されない場合、自動インストールは選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解凍** をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

   ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで CD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

Windows XP のドライバの手動再インストール

メモ： 赤外線センサードライバを再インストールする場合、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから、ドライバのインストールを続行します。

1. 前に述べたように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍した後、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. インストールするドライバのデバイスの種類をダブルクリックします（たとえば、**モデム** または **赤外線デバイス**）。
5. インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
6. **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
7. **一覧または特定の場所からインストールする（詳細）** を選んでから、**次へ** をクリックします。

8. **参照** をクリックして、あらかじめ ドライバファイルを解凍しておいた場所を指定します。
9. 該当するドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
10. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにデバイスドライバをインストールした後に、システムが不安定になった場合、Windows XP デバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。ドライバのロールバックで以前のドライバを再インストールできない場合、システムの復元を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。デバイスドライバのロールバックを使うには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. **デバイスマネージャ** ウィンドウで、新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
5. **ドライバ** タブをクリックします。
6. **ドライバのロールバック** をクリックします。

Windows 2000 用のドライバの手動再インストール

メモ: 赤外線センサードライバを再インストールする場合、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから、ドライバのインストールを続行します。

1. 前項で説明されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍し、**スタート** ボタンをクリックして、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャー** をクリックします。
5. インストールするドライバのデバイスの種類をダブルクリックします(たとえば、**モデム** または **赤外線デバイス**)。
6. デバイスの名前をダブルクリックします。
7. **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
8. **次へ** をクリックします。
9. **デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)** が選択されていることを確認してから、**次へ** をクリックします。
10. **場所を指定** チェックボックスにチェックマークを付け、その他のすべてのチェックボックスのチェックを外してから、**次へ** をクリックします。
11. **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍しておいた場所を指定します。
12. 該当するドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
13. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決

Microsoft® Windows® XP および Windows 2000 オペレーティングシステムでは、オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合、IRQ コンフリクトが発生しています。コンピュータの IRQ コンフリクトを調べるには、お使いのオペレーティングシステムに該当する以下の項を参照してください。

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックして、**システム** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. **デバイスマネージャ** 一覧で、その他のデバイスとのコンフリクトをチェックします。

   コンフリクトの起こっているデバイスの横には、黄色の感嘆符(!)が付いているので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

5. コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを開きます。そして、**デバイスマネージャ** から再設定または削除する必要があるものを指定します。
6. 特定のデバイスを調べる前に、これらのコンフリクトを解消します。
7. **デバイスマネージャ** 一覧で、誤動作しているデバイスの種類をダブルクリックします。
8. 一覧を展開し、特定のデバイスのアイコンをダブルクリックします。

   プロパティ ウィンドウが表示されます。

   IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、どのデバイスがそのデバイスの IRQ を共有しているかが表示されます。

9. IRQ コンフリクトを解消します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを利用することもできます。トラブルシューティングを使用するには、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。**検索** フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティング を入力し、次に、矢印をクリックして検索をはじめます。**検索の結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。**ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャー** をクリックします。
5. **表示** をクリックして、**リソース(接続別)** をクリックします。
6. **割り込み要求(IRQ)** をダブルクリックして、IRQ の割り当てを表示します。

   コンフリクトの起こっているデバイスの横には、黄色の感嘆符(!)が付いているので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

7. コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを開きます。そして、**デバイスマネージャー** から再設定または削除する必要があるものを決定します。特定のデバイスを調べる前に、これらのコンフリクトを解消します。
8. **デバイスマネージャー** 一覧で、誤動作しているデバイスの種類をダブルクリックします。
9. 一覧を展開し、特定のデバイスのアイコンをダブルクリックします。

   プロパティ ウィンドウが表示されます。

   IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、どのデバイスがそのデバイスの IRQ を共有しているかが表示されます。

10. IRQ コンフリクトを解消します。

Windows 2000 のハードウェアに関するトラブルシューティングを使用することもできます。トラブルシューティングを使用するには、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプ** をクリックします。**目次** タブの **トラブルシューティングと保守** をクリックし、**Windows 2000 に関するトラブルシューティング** をクリックしてから、**ハードウェア** をクリックします。**ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

Microsoft® Windows® システムの復元の使い方

コンピュータのハードウェア、ソフトウェア(新しいハードウェアの取り付けまたはプログラムのインストールを含む)、またはシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元機能を使用してコンピュータを以前の動作状態に復元することができます。また、最後のシステムの復元を元に戻すこともできます。

システムの復元は、自動的にシステムのチェックポイントを作成します。復元ポイントを作成して、独自のチェックポイントを手動で作成することもできます。使用するハードディスクの容量を制限するため、古い復元ポイントは自動的に削除されます。

オペレーティングシステムの問題を解決するには、セーフモードまたは通常モードからシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に戻すことができます。

システムの復元では、コンピュータを前の動作状態に復元した後でも、**マイドキュメント** フォルダに保存されている個人ファイル、データファイル、または E-メールのメッセージが失われることはありません。プログラムをインストールする前の動作状態にコンピュータを復元する場合、プログラムのデータファイルは失われませんが、そのプログラムを再インストールする必要があります。

注意:データファイルのバックアップを定期的に作成することは重要です。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元したりすることはできません。ハードディスクにある元のデータを誤って消去したり、上書きしたりした場合、またはハードディスクの故障により元のデータにアクセスできなくなった場合は、失われたデータや損傷したデータの復元にバックアップファイルを使用してください。

新しいコンピュータでは、システムの復元は有効に設定されています。ただし、空き容量が 200 MB より少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元を使用する前に、システムの復元が有効になっているか確認します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムの復元** タブをクリックします。
5. **すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

復元ポイントの作成

Windows XP では、システムの復元ウィザードを使うか、手動で復元ポイントを作成します。

システムの復元ウィザードの使い方

システムの復元ウィザードを使用するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**システムの復元** をクリックします。次に **システムの復元ウィザード** ウィンドウの指示に従います。コンピュータの管理者または管理者権限を持つユーザーとしてログオンする場合、復元ポイントを作成して名前を付けることができます。

手動での復元ポイントの作成

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントしてから **システムの復元** をクリックします。
2. **復元ポイントの作成** をクリックします。
3. **次へ** をクリックします。
4. **復元ポイントの説明** フィールドに新しい復元ポイントの名前を入力します。

   現在の日付と時刻が新しい復元ポイントの説明に自動的に追加されます。

5. **作成** をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバをインストール後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバのロールバックを使用してみます。デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用します。

注意：コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントしてから **システムの復元** をクリックします。
2. **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認してから、**次へ** をクリックします。
3. コンピュータを以前の状態に復元する時点の日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを確認して選択できるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

4. 復元ポイントを選んで、**次へ** をクリックします。

   カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。複数の復元ポイントがある場合、使用したい復元ポイントをクリックします。

注意：開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

5. **次へ** をクリックします。

   Windows XP では、システムの復元によるデータの収集が完了したら **復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

6. コンピュータが再起動したら **OK** をクリックします。

   復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意：開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントしてから **システムの復元** をクリックします。
2. **以前の復元を取り消す** を選んで、**次へ** をクリックします。

注意：開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

3. **次へ** をクリックします。

   システムの復元 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

4. コンピュータが再起動したら **OK** をクリックします。

Windows® XP の再インストール

問題を解消するために Microsoft® Windows XP オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、Windows のシステムの復元を実行して問題を修正してみてください。

注意：『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP オペレーティングシステムの再インストールオプションを提供しています。このオプションは、デルでプリインストールしているファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者が指示しない限りオペレーティングシステムの再インストールをしないようにしてください。

1. 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
2. コンピュータをシャットダウンして、コンピュータの電源を入れます。
3. `Press any key to boot from CD`（CD から起動するには任意のキーを押してください）のメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。
4. **セットアップの開始** 画面が表示されたら、<Enter> を押します。
5. **Microsoft Windows ライセンス契約** ウィンドウの内容を読み、キーボードの <F8> を押して、使用許諾契約書に同意します。
6. お使いのコンピュータにすでに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合は、r と入力して修復オプションを選び、次に手順 15へ進みます。

   新たに Windows XP をインストールする場合は、<Esc> を押して新しい Windows XP をインストールするオプションを選択し、次の画面で <Enter> キーを押してハイライト表示されたパーティション（推奨）を選択します。画面の指示に従います。

   Windows XP セットアップ 画面が表示され、Windows XP は、ファイルのコピーおよびデバイスドライバのインストールを開始します。コンピュータは自動的に数回再起動します。
7. **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、画面の下にある緑色の矢印アイコンをクリックして、続行します。画面の指示に従って、インストールを完了します。
8. **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、地域の設定を必要に応じてカスタマイズして、**次へ** をクリックします。
9. **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名を入力してから、**次へ** をクリックします。
10. Windows XP Home Edition を再インストールする場合、**コンピュータ名は何ですか？** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名を入力して、**次へ** をクリックします。

    Windows XP Professional を再インストールする場合、**コンピュータ名と Administrator** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。
11. モデムが取り付けられている場合、**モデムのダイヤル情報** 画面が表示されたら、必要な情報を入力し、**次へ** をクリックします。
12. **日付と時間の設定** ウィンドウに、日付、時間、タイムゾーンを入力して、**次へ** をクリックします。
13. コンピュータにネットワークアダプタが接続されている場合、ネットワークの設定で標準を選びます。コンピュータにネットワークアダプタが接続されていない場合、このオプションは表示されません。

    Windows XP がコンポーネントのインストールとコンピュータの設定を開始します。コンピュータが自動的に再起動されます。
14. **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、画面の下にある緑色の矢印アイコンをクリックして、続行します。画面の指示に従って、インストールを完了します。
15. CD をドライブから取り外します。
16. 適切なドライバを再インストールします。
17. アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。

Windows 2000 の再インストール

注意：『オペレーティングシステム CD』は、Windows 2000 オペレーティングシステムの再インストール用オプションを提供しています。このオプションは、デルでプリインストールしているファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者が指示しない限りオペレーティングシステムの再インストールをしないようにしてください。

1. コンピュータの電源を入れ、デルテクニカルサポート担当者がご案内する手順か、または次の手順を実行してセットアップユーティリティを起動します。
   a. コンピュータをシャットダウンします。
   b. コンピュータが Windows を起動する前に <F2> を押して、セットアップユーティリティを起動します。
   c. <Alt><P> を押して **Boot** メニューに移動します。
   d. セットアップユーティリティの **Boot** メニューで、画面の指示に従って CD または DVD から起動するように起動順序を設定します。次に、『オペレーティングシステム CD』をドライブに挿入します。
   e. <Esc> キーを押して変更を保存し、セットアップユーティリティを終了します。
   f. CD から起動するには任意のキーを押してください。
2. **Windows 2000 セットアップ** ウィンドウが表示されたら、**Windows 2000 のセットアップを開始するには ENTER キーを押してください** がハイライト表示されているか確認します。次に <Enter> を押します。
3. 画面に表示される **ライセンス契約** ウィンドウの内容を読み、<F8> を押して次へ進みます。
4. **Windows 2000 Professional セットアップ** 画面が表示されたら、矢印キーを使って Windows 2000 パーティションオプションを選択します。選択したパーティションで任意のキーを押します。
5. **Windows 2000 Professional セットアップ** ウィンドウが再度表示されたら、矢印キーを使って、Windows 2000 で使用するファイルシステムを選択して、<Enter> キーを押します。
6. もう一度、<Enter> キーを押して、コンピュータを再起動します。
7. **Windows 2000 セットアップウィザードの開始** ウィンドウが表示されたら、**次へ** をクリックします。
8. **地域** ウィンドウが表示されたら、地域を選び、**次へ** をクリックします。
9. **ソフトウェアの個人用設定** ウィンドウで、お名前と会社名を入力してから、**次へ** をクリックします。

10. Windows Product Key（プロダクトキー）の入力画面が表示されたら、コンピュータにある Microsoft ラベルの Product Key（プロダクトキー）を入力します。次に、**次へ** をクリックします。
11. **コンピュータ名と Administrator のパスワード** ウィンドウが表示されます。希望に応じてコンピュータ名と Administrator のパスワードを入力し、**次へ** をクリックします。
12. **日付と時間の設定** ウィンドウに、日付と時間を入力して、**次へ** をクリックします。

    Windows 2000 がコンポーネントのインストールとコンピュータの設定を開始します。

13. **Windows 2000 セットアップウィザードの完了** ウィンドウが表示されたら、ドライブから CD を取り出して、**完了** をクリックします。

    コンピュータが自動的に再起動されます。

休止状態モードを有効にする

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **電源オプション** アイコンをダブルクリックします。
3. **休止状態** タブをクリックします。
4. **休止状態をサポートする** が選択されていることを確認して、**適用** をクリックします。
5. **OK** をクリックして、コントロールパネルを閉じます。

目次に戻る

目次に戻る

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

● 情報の検索方法

情報の検索方法

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

メモ: 機能の中にはお使いのコンピュータ、または特定の国で利用できないものがあります。

メモ: 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合もあります。

何をお探しですか?	こちらをご覧ください
コンピュータの Diagnostics(診断)プログラム コンピュータのドライバ コンピュータのマニュアル デバイスのマニュアル ノートブックシステムソフトウェア(NSS)	**Drivers and Utilities CD(ResourceCD とも呼ばれます)** マニュアルおよびドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。この CD は、ドライバを再インストールしたり、Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行したり、マニュアルにアクセスするときに使用します。 CD 内に Readme ファイルが含まれている場合があります。この Readme ファイルでは、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。 **メモ:** ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。 **メモ:**『 Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。
コンピュータのセットアップ方法 基本的なトラブルシューティングの情報 Dell Diagnostics(診断)プログラムの実行方法 部品の取り外しおよび取り付け方法	クイックリファレンスガイド **メモ:**『クイックリファレンスガイド 』はオプションなので、すべてのコンピュータに付属しているわけではありません。 **メモ:** このマニュアルは、PDF 形式のものを ウェブサイト **support.jp.dell.com** で参照いただけます。
安全にお使いいただくための注意 認可機関の情報 快適な使い方 エンドユーザーライセンス契約	**Dell™ 製品情報ガイド**

・部品の取り外しおよび取り付け方法 ・仕様 ・システムの設定方法 ・トラブルシューティングおよび問題解決の方法	**ユーザーズガイド** Microsoft® Windows® XP ヘルプとサポートセンター 1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2. **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックし、**ユーザーズガイド** をクリックします。 『ユーザーズガイド』は、『Drivers and Utilities CD』にも収録されています。
・サービスタグおよびエクスプレスサービスコード ・Microsoft Windows ライセンスラベル	**サービスタグおよび Microsoft Windows ライセンス** これらのラベルはお使いのコンピュータの底面に貼られています。 ・サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 ・エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。
・ソリューション — トラブル解決ナビ、Q&A ・カスタマーケア — 問い合わせ先、サービスのお問い合わせ、ご注文の状況、保証、および修理に関する情報 ・サービスおよびサポート — サービス契約、テクニカルサポートとのオンラインディスカッション ・参考資料 — コンピュータのマニュアル、コンピュータ設定の詳細、製品仕様、およびホワイトペーパー ・ダウンロード — 承認ドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート ・ノートブックシステムソフトウェア（NSS）— お使いのコンピュータでオペレーティングシステムを再インストールする場合は、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® Pentium® M プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスをサポートします。NSS はお使いの Dell コンピュータが正しく動作するために必要なものです。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。	**デルサポートウェブサイト— support.jp.dell.com** **メモ:** 企業、自治体、および教育機関のお客様向けにカスタマイズされた、デルプレミアサポートウェブサイト（premiersupport.dell.com）もご利用いただけます。このウェブサイトはすべての地域でご利用できるとは限りません。
・Windows XP の基本情報 ・コンピュータのマニュアル ・デバイスのマニュアル (モデムなど)	**Windows ヘルプとサポートセンター** 1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2. 問題に関連する用語やフレーズを検索ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. 問題に関連するトピックをクリックします。 4. 画面の指示に従います。
・オペレーティングシステムの再インストール方法	**オペレーティングシステム CD** オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。『オペレーティングシステム CD』は、オペレーティングシステムを再インストールする場合に使用します。手順については、Latitude の『ユーザーズガイド』を参照してください。 オペレーティングシステムを再インストールしたら、『Drivers and Utilities CD』を使用してコンピュータに同梱のデバイスのドライバを再インストールします。 オペレーティングシステムのプロダクトキーラベルは、コンピュータに貼付されています。 **メモ:** 注文されたオペレーティングシステムによって、CD の色が違います。 **メモ:** 『オペレーティングシステム CD』はオプションなので、出荷時にお使いのコンピュータに必ずしも付属しているわけではありません。

目次に戻る

目次に戻る

困ったときは

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- テクニカルサポート
- ご注文に関する問題
- 製品情報
- 保証期間中の修理と返品について
- お問い合わせになる前に
- デルへのお問い合わせ

テクニカルサポート

技術上の問題のサポートを受けなければならないときは、いつでもデルにお問い合わせください。

警告: コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。

1. 「問題の解決」の手順を完了します。
2. Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行します。
3. 診断チェックリストを印刷して、それに記入します。
4. インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポート(**support.jp.dell.com**)から、広範囲をカバーするオンラインサービスを利用してください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合、デルにお問い合わせください。

メモ: デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。テクニカルサポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

メモ: デルのエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。

テクニカルサポートサービスの使い方の説明は、「テクニカルサポートサービス」を参照してください。

オンラインサービス

デルサポートへは、**support.jp.dell.com** でアクセスすることができます。**サポートサイトへようこそ** のページから、サポートツール、情報などをお選びください。

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- ワールドワイドウェブ(WWW)

  www.dell.com/

  www.dell.com/ap/(アジア / 太平洋諸国)

  www.dell.com/jp(日本)

  www.euro.dell.com(ヨーロッパ)

  www.dell.com/la/(ラテンアメリカ諸国)

  www.dell.com.ca(カナダ)

- サポートウェブサイト

  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  apsupport@dell.com (アジア太平洋地域)

  support.jp.dell.com (日本)

  support.euro.dell.com (ヨーロッパ)

24 時間納期案内電話サービス

注文した Dell™ 製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、または、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。

テクニカルサポートサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

テクニカルサポートにお問い合わせになる場合、まず「テクニカルサポート」を参照してから、「デルへのお問い合わせ」に記載されているお住まいの地域の番号にご連絡ください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。

製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文になりたい場合は、デルウェブサイト **www.dell.com/jp/** をご覧ください。電話で販売担当者とお話になりたいときは、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

『サービス＆サポートのご案内』をご覧ください。

お問い合わせになる前に

メモ： お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがおわかりになると、デルで自動電話サポートシステムをお受けになる場合に、より効率良くサポートが受けられます。

必ず Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をかけてください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルが･ることを確認してください。

警告：コンピュータ内部の作業をする前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください

Diagnostics（診断）チェックリスト
名前：
日付：
住所：
電話番号：
サービスタグ（コンピュータ背面のバーコード）：
エクスプレスサービスコード：
返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：
オペレーティングシステムとバージョン：
周辺機器：
拡張カード：
ネットワークに接続されていますか？　はい　いいえ
ネットワーク、バージョン、およびネットワークアダプタ：
プログラムとバージョン：
システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。
エラーメッセージ、ビープコード、または診断コード：
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（テクニカルサポート）

- **premiersupport.dell.com**（教育機関、行政機関、医療機関、および中企業/大企業のカスタマー、ならびにプレミア、プラチナ、およびゴールドカスタマーのためのテクニカルサポート）

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E-メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） **国際電話アクセスコード** **国番号** **市外局番**	**部署名またはサービス地域、** **ウェブサイトおよび E-メールアドレス**	**市内番号** **フリーダイヤル**
日本（川崎） 国際電話アクセスコード：**001** 国番号：**81** 市外局番：**44**	Web サイト：**support.jp.dell.com**	
	テクニカルサポート（サーバー）	フリーダイヤル：0120-198-498
	日本国外のテクニカルサポート（サーバー）	81-44-556-4162
	テクニカルサポート(Dimension、および Inspiron)	フリーダイヤル：0120-198-226
	日本国外のテクニカルサポート（Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
	テクニカルサポート(Dell Precision、OptiPlex、およびLatitude)	フリーダイヤル:0120-198-433
	テクニカルサポート（海外から）（Dell Precision、OptiPlex、および Latitude）	81-44-556-3894
	テクニカルサポート（PDA、プロジェクタ、プリンタ、ルーター）	フリーダイヤル：0120-981-690
	日本以外のテクニカルサポート（PDA、プロジェクタ、プリンタ、ルーター）	81-44-556-3468
	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

目次に戻る

目次に戻る

用語集

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current — コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと供給される電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

APR — advanced port replicator — ノートブックコンピュータでモニター、キーボード、マウス、およびその他のデバイスを便利に使えるようにするドッキングデバイスです。

ASF — alert standards format — 管理コンソールにハードウェアとソフトウェアの警告を報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるよう設計されています。

B

BIOS — basic input/output system（基本入出力システム）— コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェースの役割をするプログラム（またはユーティリティ）です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれます。

Bluetooth™ — 短距離（9 メートル）内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する単位です。

BTU — British thermal unit（英国熱量単位）— 熱量の単位です。

C

C — セルシウス（摂氏） **—** 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD — compact disc（コンパクトディスク）— 光学形式のストレージメディアです。通常、音楽やソフトウェアプログラムに使用されます。

CD ドライブ — CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

CD プレーヤー — 音楽 CD を再生するソフトウェアです。CD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して CD を再生することができます。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きできます（再書き込み）。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW / DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書）— お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windows の英数文字のコードです。オペレーティングシステムのセットアップや再インストールを行うのに COA が必要な場合があります。Product Key（プロダクトキー）や Product ID（プロダクト ID）とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM）— メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM）— データのバーストサイクルを二倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access — DMA チャネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がマイクロプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線）— アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジです。

DVD — digital versatile disc — 通常は、映画を録画するために使われるディスクです。CD の場合は片面のみを使用しますが、DVD は両面を使用します。DVD ドライブはほとんどの CD を読み取ることができます。

DVD ドライブ — DVD および CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

DVD プレーヤー — DVD 映画を鑑賞するときに使用するソフトウェアです。DVD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して映画を鑑賞することができます。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります）。

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW（書き換え可能な DVD）ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface — コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。DVI アダプタはコンピュータの内蔵グラフィックを介して動作します。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正） — メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取ったりするときに、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害）— 電磁放射線が原因で起こる電気障害です。

Energy Star® — Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD — electrostatic discharge（静電気放電）— 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

F

Fahrenheit — ファーレンハイト（華氏）— 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会） — コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus — マイクロプロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）— インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイルの交換に利用される標準のインターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1,024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 1 GHz は、1,000,000,000 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする対話型ソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTML — hypertext markup language — インターネットブラウザ上で表示できるよう、インターネットのウェブページに挿入されるコードセットです。

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ(kHz)、メガヘルツ(MHz)、ギガヘルツ(GHz)、またはテラヘルツ(THz)単位で計測される場合もあります。

I

IC — Industry Canada — 米国の FCC と同様、電子装置からの放射を規制するカナダの規制団体です。

IC — integrated circuit(集積回路)— コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの極小電子コンポーネントが搭載されている半導体ウェーハーまたはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output(入出力)— コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力したりする動作またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス(シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど)に関連する RAM のアドレスで、マイクロプロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IRQ — interrupt request(割り込み要求) — デバイスがマイクロプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider(インターネットサービスプロバイダ)— ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料(月払い)で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kb は 1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 周波数の単位です。1 kHz は 1,000 Hz です。

L

LAN — local area network — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN(ワイドエリアネットワーク)を構成できます。

LCD — liquid crystal display(液晶ディスプレイ)— ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode(発光ダイオード)— コンピュータのステータスを示す光を発する電子コンポーネントです。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続の指定です。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

MB — メガバイト — データの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。または 1,024 KB を表します。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms — ミリ秒 — 1000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory（不揮発性ランダムアクセスメモリ） — コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止したりした場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、マイクロプロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIN — personal identification number（個人識別番号） — コンピュータネットワークやその他の安全が保護されているシステムへの不正なアクセスを防ぐために使用される一連の数字や文字です。

PIO — programmed input/output — データパスの一部にマイクロプロセッサを経由した 2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test（電源投入時の自己テスト） — BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタです。

PXE — pre-boot execution environment — WfM（Wired for Management）標準で、オペレーティングシステムがないネットワークコンピュータを設定し、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — 2 台以上のドライブが一緒に動作して、性能を向上させたり耐故障性を提供するシステムです。RAID ドライブは通常、サーバーや高性能 PC で使用されます。

最もよく使用される RAID レベルは、0、1、5、10、50 です。

RAM — random-access memory — プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference（無線電波障害） — 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）— コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock — システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST — real-time clock reset — いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— DRAM のタイプで、マイクロプロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスを Windows のプログラムで使用できるようにするインタフェースです。

U

UPS — uninterruptible power supply（無停電電源装置） — 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア） — ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

WHr — ワット時 — おおよそのバッテリー容量を示すのに通常利用される計測単位です。たとえば、66 WHr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできる、ソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出し、隔離して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — デルコンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。エクスプレスサービスコードが利用できない国もあります。

オプティカルドライブ — CD、DVD、または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、モニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み防止 — ファイルやメディアに、データの内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けた時に PC カードスロットからカードの端がはみ出ています。

注意：コンピュータを梱包したり、持ち運んだりする場合、必ず拡張型 PC カードを取り外してください。PC カードのはみ出している部分に衝撃を与えると、システム基板が損傷することがあります。

メモ： お使いのコンピュータに PC カードコネクタが 2 つ付いている場合、拡張型 PC カードは、必ず上段の PC カードコネクタに取り付けてください。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上（コンピュータによって異なる場合もあります）のコネクタです。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動 CD — コンピュータを起動するのに使用する CD です。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities CD』または Resource CD が起動 CD です。

起動ディスク — コンピュータを起動するのに使用するディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、マイクロプロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ ― マイクロプロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ ― マイクロプロセッサに外付け、またはマイクロプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャシュ。

休止状態モード ― メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

グラフィックモード ― x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックモードは、どんな形やフォントも表現できます。

クロック速度 ― システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

国際通行許可書 ― 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関用文書です。商品パスポートとも呼ばれます。

コントローラ ― マイクロプロセッサとメモリ間、またはマイクロプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル ― 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows ユーティリティです。

さ

サージプロテクタ ― コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動(雷などの原因で)から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 ％以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ ― **suppoprt.jp.dell.com** でデルサポートにアクセスされる際、またはデルのカスタマーサービスやテクニカルサポートにお電話いただく際、お持ちのコンピュータを識別するためのコンピュータにあるバーコードラベルです。

システム基板 ― コンピュータに搭載されている主要回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

システムトレイ ― 通知領域を参照してください。

シャットダウン ― ウィンドウやプログラムを閉じ、オペレーティングシステムを終了して、コンピュータの電源を切るプロセスです。シャットダウンが完了する前にコンピュータの電源を切ると、データを損失する恐れがあります。

ショートカット ― 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

ショートカットキー ― 同時に複数のキーを押してコンピュータを操作します。キーの組み合わせとも呼ばれます。

シリアルコネクタ ― I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク ― ファイル、フォルダ、およびハードディスク上にエラーがないかどうかをチェックする Microsoft ユーティリティです。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード ― コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして、電力を節電する省電力モードです。

スマートカード ― マイクロプロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブル接続しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定したりするのに使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。

ソフトウェア — コンピュータファイルやプログラムなど、電子的に保存できるものすべてを指します。

た

通知領域 — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

ディスクのストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

テキストエディター — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディターには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

デバイス — ディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどコンピュータに内蔵または外付けされたハードウェアです。

デバイスドライバ — ドライバを参照してください。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。拡張ディスプレイモードとも呼ばれます。

ドッキングデバイス — APRを参照してください。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

な

内蔵 — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バックアップ — フロッピーディスク、CD、またはハードドライブなどにプログラムやデータをコピーすることをバックアップといいます。不測の事態に備えて、定期的にハードドライブ上のデータファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

バッテリー — ノートブックコンピュータが AC アダプタおよびコンセントに接続されていない時に、コンピュータを動作させるために使われる内蔵の電源です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

バッテリー駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーがコンピュータに電源を供給する間、充電量を維持できる時間（分または時間数）です。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、パラレルプリンタをコンピュータに接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱を助けるマイクロプロセッサに付属する金属板です。

ピクセル — ディスプレイ画面のシングルポイントです。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 × 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供するビデオカードまたは（内蔵ビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックスをモニターに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディターなど）は、x 列 × y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりするスペースを表す用語です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備する工程のことです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プログラム — 表計算ソフト、ワープロソフト、データベースソフト、ゲームソフトなどデータ処理をするソフトウェアです。これらのプログラムは、オペレーティングシステムの実行を必要とします。

フロッピードライブ — フロッピーディスクにデータを読み書きできるディスクドライブです。

ヘルプファイル — 製品の説明や各種手順を記したファイルです。ヘルプファイルの中には、Microsoft Word の『ヘルプ』のように特定のプログラムに適用されるものがあります。 他にも単独で参照できるヘルプファイルもあります。通常、ヘルプファイルの拡張子は、**.hlp** または **.chm** です。

ま

マイクロプロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算を行うチップです。マイクロプロセッサは、プロセッサや CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

マウス — 画面上のカーソルを移動させるポインティングデバイスです。通常は、マウスを硬くて平らな面で動かし、画面上のカーソルやポインタを移動します。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンする時もファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる工程です。デバイスとソフトウェアが、マイクロプロセッサがアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E-メールの交換に使用されます。

モニター — 高解像度のテレビのようなデバイスで、コンピュータの出力を表示します。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は、Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（または垂直周波数）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにマイクロプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

キーボードとタッチパッドの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- テンキーパッド
- キーボードショートカット
- タッチパッド
- トラックスティック
- タッチパッドおよびトラックスティックのカスタマイズ

テンキーパッド

メモ： 外付けのキーボードまたはキーパッドをコンピュータに接続すると、コンピュータのキーパッドは無効になります。

テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーは、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、キーパッドを有効にし、<Fn> を押したまま、ご希望のキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 が点灯して、キーパッドが有効になっていることが示されます。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

キーボードショートカット

システム機能

<Ctrl><Shift><Esc>	**Windows タスクマネージャ** ウィンドウが開きます。
<Num Lk>	テンキーパッドを有効または無効にします（外付けキーボードのみ）。
<Fn><Num Lk>	Scroll Lock 機能を有効または無効にします。

バッテリー

<Fn><F3>	Dell™QuickSet バッテリメーターを表示します。

CD または DVD トレイ

<Fn><F10>	トレイをドライブから取り出します。

ディスプレイ関連

<Fn><F8>	画面モードの表示を次の順に切り替えます。内蔵ディスプレイのみ、内蔵ディスプレイと外付け CRT モニターの同時表示、または外付け CRT モニターのみ、内蔵ディスプレイと外付け DVI モニターの同時表示、または外付け DVI モニターのみ。
<Fn> + 上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。
<Fn> + 下矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

無線通信（ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth™ を含む）

<Fn><F2>	ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth を含む、無線通信を有効または無効にします。

電力の管理

<Fn><Esc>	選択した省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブでショートカットキーを設定できます。

スピーカー関連

スピーカーから何も聞こえない場合は、<Fn><End> を押して、ボリュームを調節します。

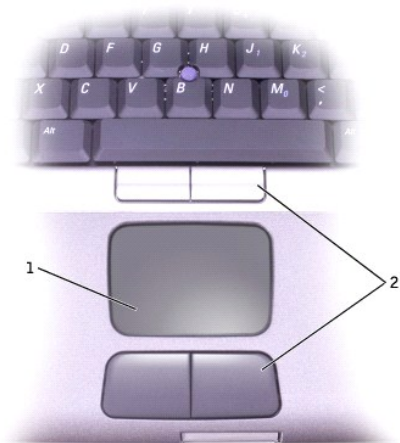
<Fn><Page Up>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。
<Fn><Page Down>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
<Fn><End>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効または無効にします。

Microsoft® Windows® ロゴキー操作

Windows ロゴキー + <M>	すべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキー + <Shift><M>	すべてのウィンドウを最大化します。
Windows ロゴキー + <E>	Windows エクスプローラが開きます。
Windows ロゴキー + <R>	**ファイル名を指定して実行** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキー + <F>	**検索結果** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキー + <Ctrl><F>	**検索結果 ーコンピュータ** ダイアログボックスが開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキー + <Pause>	**システムのプロパティ** ダイアログボックスが開きます。

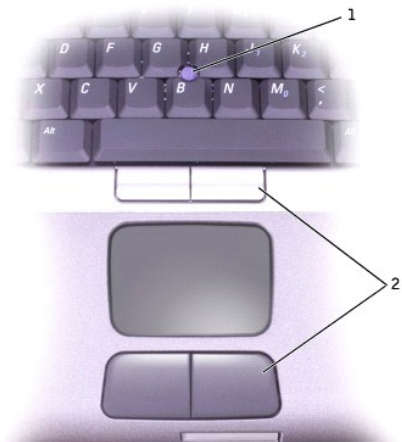
文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを使って **プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**キーボード** をクリックするか（Windows XP）または、**キーボード** アイコンをダブルクリックして（Windows 2000）設定を調整します。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。

1	タッチパッド
2	トラックスティックボタン / タッチパッドボタン

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、または親指で左のトラックスティックボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、オブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

トラックスティック

トラックスティックは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、トラックスティックとトラックスティックボタンを使用します。

1	トラックスティック
2	トラックスティックボタン / タッチパッドボタン

- カーソルを動かすには、トラックスティックを押します。カーソルを画面の上下に動かすには、トラックスティックを押し上げたり押し下げたりします。カーソルを画面の左右に動かすには、トラックスティックを左または右に押します。
- オブジェクトを選択するには、トラックスティックを軽く 1 回たたくか、または親指で左のトラックスティックボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトの上にカーソルを移動します。次に、親指で左のトラックスティックボタンを押したままにします。トラックスティックボタンを押さえながら、トラックスティックを押してオブジェクトを目的の位置まで移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、カーソルをオブジェクトの上に移動して、トラックスティックを軽く 2 回たたくか、親指を使って左のトラックスティックボタンを 2 回押します。

タッチパッドおよびトラックスティックのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドおよびトラックスティックを無効にしたり、設定を調節したりできます。

1. Windows XP の場合、コントロールパネルを開いて、**プリンタとその他のハードウェア**をクリックし、**マウス** をクリックします。

   Windows 2000 の場合、コントロールパネルを開いて **マウス** アイコンをダブルクリックします。

2. **マウスのプロパティ** ウィンドウでは、以下のことができます。
   - **デバイスの選択** タブをクリックして、**スティック**、**スティックとパッド**、または **パッドのみ** を選択します。
   - **タッチパッド** タブをクリックしてタッチパッドの設定を調節したり、**スティック** タブをクリックしてトラックスティックの設定を調節したりします。
3. 希望の設定を選択して、**適用** をクリックします。
4. **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

トラックスティックキャップの取り替え

お使いのコンピュータには、予備のトラックスティックキャップが付いています。トラックスティックキャップは長期の使用で磨耗した場合、取り替える必要があります。

1. トラックスティックからキャップを取り外します。
2. 新しいキャップを四角いトラックスティック軸に合わせ、慎重に軸にかぶせます。
3. トラックスティックを動かして、キャップが正しく装着されているか確認します。

目次に戻る

目次に戻る

パスワードについて

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- パスワードについて
- プライマリパスワードの使い方
- システム管理者パスワードの使い方
- ハードドライブパスワードの使い方
- 管理タグの割り当て

パスワードについて

メモ: ご購入時には、パスワードは設定されていません。

プライマリパスワードは、使用を許可されていないユーザーによるコンピュータの起動を防ぐことができます。プライマリパスワードの代わりに、システム管理者パスワードを使用することもできます。ドライブが別のコンピュータに取り付けられている場合でも、ハードドライブパスワードを設定すると、使用を許可されていないユーザーのデータへのアクセスができなくなります。

メモ: デルから Dell™ Latitude™ D シリーズノートブックコンピュータで使用するハードドライブを購入された場合にのみ、ハードドライブパスワード機能を使用できます。

注意: パスワードは、コンピュータやハードドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするためには、スマートカード、データ暗号化プログラム、または暗号化機能の付いた PC カードなどを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードを忘れてしまった場合、システム管理者に尋ねるか、デルにお問い合わせください。その際、使用を許可されていないユーザーによる不正使用を防ぐため、デルのテクニカルサポート担当者はお客様がコンピュータの所有者であるかどうかを確認します。

以下の表に、お使いのコンピュータで利用可能なパスワードの種類と機能について示します。

パスワードの種類	機能
プライマリ	・使用を許可されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護します。
システム管理者	・コンピュータを修理または再設定するシステム管理者または技術者がアクセスします。 ・システムパスワードによってシステムへのアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。 ・プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。
ハードドライブ	・使用を許可されていないユーザーのアクセスからハードドライブまたは外部のハードドライブ（使用している場合）のデータを保護するために使用します。

プライマリパスワードの使い方

プライマリパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護するために使用します。

プライマリパスワードを設定すると、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。パスワードを設定した後にコンピュータを起動すると、次のようなメッセージが毎回表示されます。

`Please type in the primary or administrator password and press <Enter>.`（プライマリまたは管理者パスワードを入力して、`<Enter>` を押してください。）

操作を続けるには、パスワード（最大 8 文字）を入力します。

2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

システム管理者パスワードが設定されている場合は、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。通常、コンピュータ画面でシステム管理者パスワードの入力は必要ありません。

注意：システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

システム管理者パスワードの使い方

システム管理者パスワードは、コンピュータを修理または再設定するシステム管理者またはサービス技術者のためのものです。システム管理者や技術者が複数のコンピュータに同一のシステム管理者パスワードを登録すると、ユーザーはプライマリパスワードを設定することができます。

システム管理者パスワードを設定すると、セットアップユーティリティの **Configure Setup** オプションが有効になります。**Configure Setup** オプションでは、プライマリパスワードによってシステムへのアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。

システム管理者パスワードは、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。プライマリパスワードの入力を求められた場合、常にシステム管理者パスワードで代用できます。

メモ： システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブパスワードが設定されている場合、ハードドライブへのアクセスはできません。

システム管理者パスワードを設定せずに、プライマリパスワードを忘れてしまった場合、また両方のパスワードを設定して、どちらも忘れてしまった場合は、システム管理者に尋ねるか、デルにお問い合わせください。

注意：システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

ハードドライブパスワードの使い方

ハードドライブパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからハードドライブ上のデータを保護するために使用します。外付けハードドライブをご使用の場合、そのドライブにプライマリハードドライブと同じ、または異なるパスワードを設定することもできます。

ハードドライブパスワードを設定すると、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。またスタンバイモードから通常の動作状態に復帰する際にも、必ず入力する必要があります。

ハードドライブパスワードを有効にした場合、コンピュータを起動するたびに次のようなメッセージが毎回表示されます。

`Please type in the hard-disk drive password and press <Enter>.`（ハードディスクドライブパスワードを入力して、`<Enter>` を押してください。）

操作を続けるには、パスワード（最大 8 文字）を入力します。直前の状態に戻るには、<Esc> を押します。

2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

パスワードを間違えると、次のメッセージが表示されます。

```
Invalid password
[Press Enter to retry]
```
（無効なパスワードです [Enter を押して再度入力してください]）

パスワードが 3 回以内に正しく入力されないと、セットアップユーティリティの **Boot First Device** の一覧で設定している次のデバイスからの起動を試みます。**Boot First Device** の一覧に他のデバイスがない場合、コンピュータは電源を入れたときの状態に戻ります。

ハードドライブパスワード、外付けハードドライブパスワード、およびプライマリパスワードが同じ場合、プライマリパスワードの入力だけが求められます。ハードドライブパスワードがプライマリパスワードと異なる場合、両方のパスワードの入力が求められます。2 つのパスワードを別々に設定することで、セキュリティをさらに強化することができます。

メモ： システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブパスワードが設定されている場合、ハードドライブへのアクセスはできません。

管理タグの割り当て

管理タグ設定ユーティリティを使用して、コンピュータに割り当てられた管理タグを入力できます。管理タグを入力すると、セットアップユーティリティ画面にタグが表示されます。

管理タグ設定ユーティリティを使うと、システムのログオン画面で、プライマリパスワードプロンプトと共に所有者タグを入力することもできます。

メモ: お使いのコンピュータの『Drivers and Utilities CD』は、起動 CD です。

既存の管理タグとサービスタグの表示

1. 起動フロッピーディスクまたは CD を使って、コンピュータを起動します。
2. `cd c:¥Dell¥Util` と入力して <Enter> を押します。
3. asset と入力して <Enter> を押します。

管理タグ設定ユーティリティ

管理タグは最大 10 文字で、スペースを除く任意の文字の組み合わせが使用できます。

1. 起動フロッピーディスクまたは CD を使って、コンピュータを起動します。
2. `cd c:¥dell¥util` と入力して <Enter> を押します。
3. asset と入力し、スペースを 1 つ入れてから新しい管理タグを入力し、<Enter> を押します。

   たとえば、次のようにコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

   `asset 1234$ABCD&`

4. 管理タグ番号の確認を求めるプロンプトが表示されたら、y と入力して <Enter> を押します。

   コンピュータに、新規または変更後の管理タグとサービスタグが表示されます。

管理タグの削除

1. 起動フロッピーディスクまたは CD を使って、コンピュータを起動します。
2. `cd c:¥dell¥util` と入力して <Enter> を押します。
3. asset /d と入力して <Enter> を押します。

所有者タグの割り当て

所有者タグは最大 48 文字で、文字のほか数字やスペースも使用できます。

1. 起動フロッピーディスクまたは CD を使って、コンピュータを起動します。
2. `cd c:¥dell¥util` と入力して <Enter> を押します。
3. asset /o と入力し、スペースを 1 つ入れてから新しい所有者タグを入力し、<Enter> を押します。

   たとえば、次のようにコマンドを入力し、<Enter> キーを押します。

   `asset /o ABC Company`

4. 所有者タグ番号の確認を求めるプロンプトが表示されたら、y と入力して <Enter> を押します。

   コンピュータに新しい所有者タグが表示されます。

所有者タグの削除

メモ: セキュリティのため、プライマリパスワードまたはシステム管理者パスワードが設定されている場合、所有者タグを設定、変更、または削除することはできません。

1. 起動フロッピーディスクまたは CD を使って、コンピュータを起動します。
2. `cd c:¥dell¥util` と入力して <Enter> を押します。
3. asset /o /d と入力して <Enter> を押します。

管理タグオプション

管理タグオプション（次の表を参照）の 1 つを使用するには、次の手順を実行します。

1. 起動フロッピーディスクまたは CD を使って、コンピュータを起動します。
2. `cd c:¥dell¥util` と入力して <Enter> を押します。
3. asset と入力して、任意でスペースを 1 つ入れてから <Enter> を押します。

管理タグオプション	説明
/d	管理タグを削除します。
/o owner tag	新しい所有者タグを設定します。
/o /d	所有者タグを削除します。
/?	管理タグ設定ユーティリティのヘルプ画面を表示します。

目次に戻る

目次に戻る

PC カードの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- PC カードについて
- PC カードのダミーカード
- 拡張型 PC カード
- PC カードの取り付け
- PC カードまたはダミーカードの取り外し

PC カードについて

サポートされている PC カードについては、「仕様」を参照してください。

 メモ: PC カードは、起動デバイスではありません。

PC カードスロットには、タイプ I またはタイプ II カード 1 枚に対応するコネクタが 1 つあります。PC カードスロットは、カードバステクノロジおよび拡張型 PC カードをサポートしています。PC カードの「タイプ」とは厚みによる分類で、機能とは関係ありません。

PC カードのダミーカード

お使いのコンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに PC カードを取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードの取り外しについては、「PC カードまたはダミーカードの取り外し」を参照してください。

拡張型 PC カード

拡張型 PC カード（たとえば、ワイヤレスネットワークアダプタ）は標準の PC カードより長く、コンピュータの外側にはみ出しています。拡張型 PC カードを使用する場合、次の注意事項に従ってください。

- 取り付けたカードのはみ出した部分を保護します。カードの端をぶつけると、システム基板が損傷する恐れがあります。
- コンピュータをキャリングケースに入れる場合、必ず拡張型 PC カードを取り外してください。
- 拡張型カードは、2 枚目の PC カードが取り付けられるように、上段の PC カードコネクタに取り付けるようにしてください。

PC カードの取り付け

 警告：コンピュータでこの手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。

コンピュータの動作中に、PC カードを取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、PC カードは、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

PC カードを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. 挿入方向を示す矢印をスロットに向け、カード上面を上にして持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入します。
2. PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

   カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードが傾いていないかを確認して再度試してみてください。

コンピュータはほとんどの PC カードを認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、PC カードに付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

PC カードまたはダミーカードの取り外し

注意：タスクバーにある アイコンをクリックしてカードを選択し、その動作を停止してからコンピュータから PC カードを取り外します。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。ケーブルが付いている場合、カードを取り外す際にケーブルそのものを引っぱってカードを取り外さないでください。

1. 取り出しボタンを押します。

1	取り出しボタン

2. もう一度取り出しボタンを押します。
3. 慎重に PC カードまたはダミーカードを取り外します。

1	取り出しボタン

2	PC カード

スロットに PC カードを取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。

目次に戻る

[目次に戻る](#)

電力の管理

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- 電力管理のヒント
- 電力の管理ウィザード
- 省電力モード
- 電源オプションのプロパティ

電力管理のヒント

メモ： バッテリー電源の省電力の詳細に関しては、「バッテリーの使い方」を参照してください。

- バッテリーの寿命は、充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにしてください。
- 省電力モードにするには、ディスプレイを閉じるか、または <Fn><Esc> を押します。
- 省電力モードを終了するには、電源ボタンを押します。

電力の管理ウィザード

メモ： アクセス権が制限されている場合、**電力の管理ウィザード** は利用できません。

アイコンをクリックまたはダブルクリックして、**電力の管理ウィザード** を開きます。

ウィザードの最初の 2 つの画面、**ようこそ** と **電源の管理の概要** では、さまざまな電力の管理オプションの説明と定義について紹介しています。

メモ： **電源の管理の概要** 画面で、**今後はこのページを表示しない** を選ぶことができます。このオプションを選ぶと、**ようこそ** 画面も表示されなくなります。

電力の管理ウィザード の以下の画面を使って、スリープモード、電源設定、バッテリーの低充電警告など、各種の電源管理オプションを設定します。

スリープモードを設定する

画面では、スタンバイモードと休止状態モードが定義されています。この画面から以下のことができます。

- スタンバイモードのパスワードオプションを設定します。
- 休止状態モードを有効または無効にします。
- ディスプレイを閉じたときのコンピュータのアクションを選択します。
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
- 電源ボタンを押したときのコンピュータのアクションを選択します。
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - Microsoft® Windows® オペレーティングシステムをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。

- 画面上でユーザーに指示が出されます（**必要な操作**）。

- <Fn><Esc> を押したときのコンピュータの反応を選択します。
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - Microsoft Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
  - 画面上でユーザーに指示が出されます（**必要な操作**）。

電源設定を選択する

メモ： コンピュータがバッテリーで動作している場合、**ネットワーク無効** 電源設定は、ネットワークまたはワイヤレスアクティビティを有効または無効にします。コンピュータがコンセントまたはドッキングデバイスに接続されている場合、**ネットワーク無効** 電源設定は、ワイヤレスアクティビティのみ無効になります。**ネットワーク無効** の機能を使うには、QuickSet（Microsoft® Windows® ではなく）の電源設定を利用する必要があります。

この画面で電源設定の選択、作成、および編集ができます。また、お客様が作成した電源設定を削除することはできますが、Dell™ QuickSet の既定の電源設定（**最大バッテリ**、**最大パフォーマンス**、**プレゼンテーション**、および **ネットワーク無効**）は削除できません。

メモ： QuickSet は、QuickSet を使って作成した電源設定名の後に、自動的に（**QuickSet**）という単語を付け加えます。

すべての QuickSet 電源設定は、画面中央近くのドロップダウンメニューに表示されます。メニュー内の各電源設定は、メニューの下に表示されます。コンピュータがバッテリーで稼動している時の電源設定と、コンセントに接続されている時の電源設定は別々に表示されます。

電力の管理ウィザード を利用して、電源設定にディスプレイの輝度レベルを関連付けることができます。輝度レベルを設定するには、QuickSet を使って輝度レベル電源設定を有効にする必要があります。

ディスプレイの輝度、内蔵ネットワークカードアクティビティ、およびワイヤレスアクティビティの機能は、Microsoft® Windows® の **コントロールパネル** の電源設定からはご利用できません。これらの付加価値機能を使用するには、QuickSet 電源設定から設定する必要があります。

メモ： 輝度のショートカットキーは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターには影響はありません。コンピュータが **CRT** のみのモードになっているときに輝度レベルを変更しようとした場合、**輝度メーター**は表示されますが、モニターの輝度レベルは変更されません。

バッテリーアラームとアクションを設定する

この画面から、バッテリ低下アラームとバッテリ切れアラームを有効にでき、また警告の設定を変更できます。たとえば、バッテリ低下アラームを 20 %に設定して、作業中のファイルを保存し、AC 電源に切り替えるよう促したり、バッテリ切れアラームを 10 %に設定して休止状態モードに入るようにしたりできます。この画面から以下のことができます。

- アラームの通知方法として、音声とテキストメッセージのどちらかを選択します。

- アラーム通知を行う電源レベルを指定します。

- アラーム通知があったときのコンピュータのアクションを選択します。
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。

電力の管理ウィザードを完了する

画面に、お使いのコンピュータの QuickSet 電源設定、スリープモード、およびバッテリー警告設定の概要が表示されます。選択した設定を確認して、**完了** をクリックします。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

省電力モード

スタンバイモード

スタンバイモードは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおくと(タイムアウト)、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節電するモードです。スタンバイモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意: スタンバイモードのときに AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードを起動するには、以下の手順を実行します。

- Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの場合、**スタート** ボタンをクリックして **終了オプション** をクリックし、**スタンバイ** をクリックします。

  Windows 2000 の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**シャットダウン** をクリックします。次に **スタンバイ** をクリックして、**OK** をクリックします。

  または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定 タブ**で、ご自分で設定した電源管理のオプションに従い、次の方法の一つを実行します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

スタンバイモードから通常の動作状態に戻るには、**詳細設定 タブ**で、ご自分で設定したオプション設定に応じて電源ボタンを押すか、またはディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドやトラックスティックに触れてもコンピュータはスタンバイモードから復帰しません。

休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節電します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意: お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている間は、デバイスの取り外し、またはコンピュータをドッキングデバイスから取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手動で休止状態モードを起動するには、以下の手順を実行します。

- Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして **終了オプション** をクリックし、<Shift> キーを押したまま **休止状態** をクリックします。

  Windows 2000 の場合、休止状態をサポートするに設定されている場合は、**スタート** ボタンをクリックし、**シャットダウン** をクリックして、**休止状態** をクリックします。次に、**OK** をクリックします。

  または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定 タブ**で、ご自分で設定した電源管理のオプションに従い、次の方法の 1 つを実行し、休止状態モードを起動します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

メモ: PC カードによっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを取り外して取り付けなおすか、コンピュータを再起動してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドやトラックスティックに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源オプションのプロパティ

電源オプションのプロパティ ウィンドウで、消費電力の管理およびバッテリーの充電状況を監視することができます。Microsoft Windows の **電源オプションのプロパティ** ウィンドウを表示するには、次の手順を実行します。

- Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。次に、**電源オプション** をクリックします。

- Windows 2000 の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックしてから、**電源オプション** アイコンをダブルクリックします。

電源設定タブ

Windows XP では、選択した電源設定に基づいてプロセッサのパフォーマンスレベルを制御します。パフォーマンスレベルの設定には、それ以外の調整は必要ありません。その他のオペレーティングシステムのプロセッサのパフォーマンスレベル設定に関する情報は、「Intel SpeedStep® テクノロジタブ」を参照してください。

設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードにする、ディスプレイの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。電源管理のオプションの詳細については、ヘルプとサポートセンター（Windows 2000 の場合、Windows『ヘルプ』）を参照してください。

アラームタブ

メモ： アラームの音が聞こえるようにするには、**アラームの動作** ボタンをクリックして、**音で知らせる** を選択します。

バッテリ低下アラーム と **バッテリ切れアラーム** 設定は、バッテリーの充電量が一定以下になったというメッセージを表示して警告します。コンピュータがお手元に届いたときには、**バッテリ低下アラーム** と **バッテリ切れアラーム** のチェックボックスが選択されています。これらの設定を変えずにお使いになることをお勧めします。バッテリ低下アラームの詳細については、「バッテリーの使い方」を参照してください。

電源メータータブ

電源メーター タブは現在の供給電源と、バッテリーの充電残量を表示します。

詳細設定タブ

詳細設定 タブでは次のことができます。

- 電源のアイコンとスタンバイモードのパスワードオプションを設定します。
- （お使いのオペレーティングシステムに応じて）次の機能が設定できます。
  - 画面上でユーザーに指示が出されます（**必要な操作**）。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
  - 何もしません（**なし** または **何もしない**）。

これらの機能を設定するには、対応するドロップダウンメニューからオプションをクリックして、**OK** をクリックします。

休止状態タブ

休止状態 タブでは、**休止状態を有効にする**（または、**休止状態をサポートする**）チェックボックスをクリックすることで、休止状態モードを有効にします。

Intel SpeedStep® テクノロジタブ

メモ： Windows XP は、選択した電源設定によってプロセッサのパフォーマンスレベルを調節します。「電源設定タブ」を参照してください。

お使いのオペレーティングシステムやマイクロプロセッサによっては、**電源オプションのプロパティ** ウィンドウに **Intel SpeedStep® テクノロジ** タブがあります。Intel テクノロジを使用すると、コンピュータがバッテリーまたは AC 電源のいずれかで動作している場合でも、マイクロプロセッサのパフォーマンスレベルを設定できます。お使いのオペレーティングシステムによって多少異なりますが、一般的な設定は以下のとおりです。

メモ： Intel SpeedStep テクノロジを使用するには、Windows オペレーティングシステムを実行している必要があります。

- **自動** — コンピュータが AC 電源で動作している場合、プロセッサは最大速度で動作します（最大パフォーマンスモード）。コンピュータがバッテリー電源で動作している場合、プロセッサ速度は、バッテリー最適化モードになります。
- **最大パフォーマンス** — コンピュータがバッテリーで動作している場合でも、最大パフォーマンスレベルに設定されます。
- **バッテリに合わせたパフォーマンス** — コンピュータが電源コンセントに接続されている場合でも、プロセッサ速度は、バッテリー電源に最適化されます。
- **バッテリの最長寿命** — プロセッサ速度は、バッテリー電源用に最適化されます。

追加の Intel SpeedStep オプションを変更するには、次の手順を実行します。

1. **詳細** をクリックして、以下のいずれかのオプションをクリックします。

- **Intel SpeedStep technology コントロールを無効にする**
- **タスクバーからアイコンを削除する**（通知領域から）
- **パフォーマンスの変更時に音声通知を無効にする**

2. **OK** をクリックして変更し、もう一度 **OK** をクリックして **Intel SpeedStep® テクノロジ（詳細）** ウィンドウを閉じます。

通知領域にあるフラグアイコンを右クリックして、Intel SpeedStep 設定を変更することもできます。

目次に戻る

目次に戻る

問題の解決

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- 電源の問題
- エラーメッセージ
- ビデオとディスプレイの問題
- サウンドとスピーカーの問題
- プリンタの問題
- モデムおよびインターネット接続の問題
- タッチパッドまたはマウスの問題
- 外付けキーボードの問題
- 入力時の問題
- ドライブの問題
- PC カードの問題
- スマートカードの問題
- ネットワークの問題
- プログラムの一般的な問題
- Dell™ コンピュータが濡れた場合
- コンピュータを落としたり損傷を与えたりした場合
- その他の技術的な問題の解決

電源の問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータの電源が入っています。電源ライトが点滅している場合は、コンピュータがスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。

1. バッテリーを取り付けなおします。
2. AC アダプタを使用して、コンピュータをコンセントに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。

バッテリーステータスライトを確認します — バッテリーステータスライトが橙色に点滅または点灯している場合、バッテリーの充電が低下しているか充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

メモ： バッテリー容量（バッテリーの充電が保持されている時間）は、時間の経過に従って短くなります。 バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。
バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

電源のプロパティを調整します —「電力の管理」を参照してください。

メモリモジュールを取り付けなおします — コンピュータの電源ライトが点灯しているのに画面に何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします。

エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー — タッチパッド、トラックスティック、または外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで **Pointing Device** オプションの設定を有効にします。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。
コマンド名またはファイル名が違います — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいか確認します。
障害によるキャッシュの無効 — マイクロプロセッサに内蔵のプライマリキャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください。
CD ドライブコントローラエラー — CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません。「ドライブの問題」を参照してください。
データエラー — フロッピードライブまたはハードドライブがデータを読み取れません。「ドライブの問題」を参照してください。
使用可能メモリ減少 — 1 つまたは複数のメモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。「メモリの増設」を参照してください。
ディスク C: の初期化失敗 — ハードドライブの初期化に失敗しました。「Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方」の **Hard-Disk Drive** テストを実行します。
フロッピードライブ 0 シークエラー — システム設定情報がハードウェア構成と一致していない可能性があります。「Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方」の **Diskette** テストを実行します。
ディスケット読み取りエラー — フロッピーディスクに問題がある可能性があります。ドライブライトが点灯する場合、別のディスクを試してみます。「ドライブの問題」を参照してください。
ディスケットサブシステムリセット失敗 — フロッピードライブコントローラに問題がある可能性があります。「Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方」の **Diskette** テストを実行します。
ディスケットの書き込み禁止 — フロッピーディスクへの書き込みが禁止されているため、作業を終了できません。書き込み禁止ノッチのタブを上にスライドさせます。
ドライブの準備ができていません — 処理を続けるには、ドライブにフロッピーディスクを挿入するか、ドライブベイにハードドライブを挿入します。ドライブにフロッピーディスクを挿入するか、フロッピーディスクを取り出しボタンが上がるまでドライブに押し入れます。または、ハードドライブベイにハードドライブを取り付けます。
PCMCIA カードの読み取りエラー — コンピュータが PC カードを認識できません。カードを挿入しなおすか、別の PC カードを使用してください。
拡張メモリの容量が変更されています — NVRAM に記録されているメモリ容量が実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、デルにお問い合わせください。
Gate A20 エラー — メモリモジュールが緩んでいる可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。
一般的エラー — オペレーティングシステムがコマンドを実行できません。通常、このメッセージの後には具体的な情報が付きます（たとえば、`Printer out of paper` [プリンタの用紙がありません]。適切な対応策に従います。
ハードディスクドライブ設定エラー — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータの電源を切り、ハードドライブを取り外し、コンピュータを起動フロッピーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。「Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方」の **Hard-Disk Drive** テストを実行します。
ハードディスクドライブコントローラエラー 0 — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータの電源を切り、ハードドライブを取り外し、コンピュータを起動フロッピーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方」の **Hard-Disk Drive** テストを実行します。
ハードディスクドライブエラー — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータの電源を切り、ハードドライブを取り外し、コンピュータを起動フロッピ

ーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **Hard-Disk Drive** テストを実行します。

ハードディスクドライブ読み取りエラー — ハードドライブに問題がある可能性があります。コンピュータの電源を切り、ハードドライブを取り外し、コンピュータを起動フロッピーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **Hard-Disk Drive** テストを実行します。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムが起動できないフロッピーディスクまたは CD から起動しようとしています。起動フロッピーディスクまたは CD を挿入します。

システム情報が間違っています — セットアップユーティリティを実行してください — システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティで対応するオプションを修正します。「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

キーボードクロックラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **Keyboard Controller** テストを実行します。

キーボードコントローラエラー — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **Keyboard Controller** テストを実行します。

キーボードデータラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **Keyboard Controller** テストを実行します。

キーボードスタックキーエラー — 外付けキーボードまたはキーパッドを使用している場合、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **Stuck Key** テストを実行します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。

メモリ割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアがオペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティとコンフリクトしています。コンピュータの電源を切り、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージがまだ表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 偶数ロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。

起動デバイスがありません — コンピュータがフロッピーディスクまたはハードドライブを見つけることができません。フロッピードライブが起動デバイスの場合、起動フロッピーディスクがドライブに挿入されていることを確認します。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分(パーティション)されているか確認します。

ハードドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **System Set** テストを実行します。

非システムディスクまたはディスクエラーです — フロッピーディスクが、フロッピードライブ内にあります。フロッピーディスクを取り出して、コンピュータを再起動します。

非起動用ディスケット — オペレーティングシステムが起動用以外のフロッピーディスクから起動しようとしています。起動フロッピーディスクを挿入します。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください。

オプション ROM のチェックサムが違います — オプションの ROM に問題があります。デルにお問い合わせください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 開こうとしているプログラムに必要なファイルが見つかりません。プログラムを削除してから、再インストールします。

Microsoft® Windows® XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **プログラムの追加と削除** をクリックします。
3. 削除するプログラムを選択します。
4. **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックして、画面の指示に従います。
5. インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **アプリケーションの追加と削除** アイコンをダブルクリックします。
3. 削除するプログラムを選択します。
4. **削除** ボタンまたは **変更 / 削除** ボタンをクリックします。
5. インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません — オペレーティングシステムがフロッピードライブまたはハードドライブ上のセクターを検出できません。フロッピーディスクまたはハードドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、フロッピーディスクまたはハードドライブのファイル構造を調べます。手順については、Windows ヘルプを参照してください。多くのセクターに障害がある場合、可能であればデータをバックアップし、フロッピードディスクまたはハードドライブを再フォーマットします。

シークエラー — オペレーティングシステムがフロッピーディスクまたはハードドライブ上の特定のトラックを検出できません。エラーがフロッピーディスクに関するものである場合、別のフロッピーディスクを使用します。

終了エラー — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **System Set** テストを実行します。

内部時計の電力低下 — システム構成設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試みます。それからすぐにプログラムを終了します。「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。メッセージが再表示される場合は、デルにお問い合わせください。

内部時計動作停止 — システム設定をサポートする予備バッテリーが切れた可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。

時間が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**Date** と **Time** オプションの設定を修正します。「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

タイマーチップカウンタ 2 エラー — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **System Set** テストを実行します。

保護モードで不正割り込みが発生 — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。「Dell Diagnostics(診断)プログラムの使い方」の **System Memory** テストと **Keyboard Controller** テストを実行します。

x:¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ディスクをドライブに挿入してもう一度アクセスします。

警告:バッテリーが極めて低下しています — バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止状態モードをアクティブにするか、コンピュータの電源を切ります。

ビデオとディスプレイの問題

以下を確認しながら、Diagnostics(診断)チェックリストに記入してください。

画面に何も表示されない場合

メモ: お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、バッテリー充電残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続し

て、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。

電源のプロパティを調整します — Windows『ヘルプ』または Windows ヘルプとサポートセンターでスタンバイというキーワードを検索します。

画面モードを操作します — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合、<Fn><F8> を押して画面モードを切り替えます。

画面が見づらい場合

輝度を調整します — 輝度の調整については、「輝度の調整」を参照してください。

サブウーハーをコンピュータまたはモニターから遠ざけます — 外付けスピーカーのシステムにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがコンピュータまたは外付けモニターから 60 cm 以上離れているか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

Windows のディスプレイ設定を調整します —

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. 変更したいエリアをクリックするか、**画面** アイコンをクリックします。
4. **画面の色** および **画面の解像度** で別の設定にしてみます。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **画面** アイコンをダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。
3. **色**、**画面の領域**、および **詳細設定** で別の設定にしてみます。

Diagnostics(診断)プログラムの [Video] テストを実行します — エラーメッセージが表示されず、画面の問題があるにもかかわらず画面の一部は表示される場合、Dell Diagnostics(診断)プログラムの **Video** デバイスグループを実行します。その後、デルにお問い合わせください。

「エラーメッセージ」を確認する — エラーメッセージが表示される場合は、「エラーメッセージ」を参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します。

1. コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
2. コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください。

サウンドとスピーカーの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。

内蔵スピーカーに問題がある場合

Windows で音量を調節します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

キーボードショートカットを使って音量を調整します「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。<Fn> <End> を押すと、内蔵スピーカーを無効（ミュート）にしたり、再び有効にしたりすることができます。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします —「ソフトウェアの再インストール」を参照してください。

CD ドライブのデジタルオーディオが有効になっているか確認します（Windows 2000 のみ）

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャー** をクリックします。
5. **DVD/CD-ROM ドライブ** をダブルクリックします。
6. ドライブ名をダブルクリックします。
7. ドライブの **プロパティ** 画面で、**プロパティ** タブをクリックします。
8. 画面の最下段のボックスをクリックして、CD または DVD ドライブのデジタルオーディオを有効にします。

外付けスピーカーに問題がある場合

メモ： MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴く場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

スピーカーの電源が入っていることを確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

Windows で音量を調節します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

スピーカーを確認します — スピーカーのオーディオケーブルをコンピュータのライン出力コネクタ に接続します。ヘッドフォンの音量が上げてあることを確認して、音楽 CD を再生します。

スピーカーのセルフテストを実行します — スピーカーによっては、セルフテストボタンがサブウーハーにあります。スピーカーのマニュアルを参照して、セルフテストを実行します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします —「ソフトウェアの再インストール」を参照してください。

[Misc. PCI Devices] 診断テストを実行します —「Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方」を参照してください。テストが問題なく完了すると、コントローラが適切に機能します。

問題が解決されない場合や、テストが正常に完了しない場合は、デルにお問い合わせください。

CD ドライブのデジタルオーディオが有効になっているか確認します（Windows 2000 のみ）

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。

4. **デバイスマネージャー** をクリックします。
5. **DVD/CD-ROM ドライブ** をダブルクリックします。
6. ドライブ名をダブルクリックします。
7. ドライブの **プロパティ** 画面で、**プロパティ** タブをクリックします。
8. 画面の最下段のボックスをクリックして、CD または DVD ドライブのデジタルオーディオを有効にします。

プリンタの問題

以下を確認しながら、Diagnostics(診断)チェックリストに記入してください。

プリンタケーブルの接続を確認します — プリンタケーブルがコンピュータに正しく接続されているか確認します。

プリンタケーブルの接続を確認します

1. コンピュータをシャットダウンして、プリンタの電源を切ります。
2. プリンタケーブルを動作確認のとれているケーブルと交換します。
3. プリンタおよびコンピュータの電源を入れ、再度印刷してみます。
4. 正常に印刷されたら、デルのテクニカルサポートに問い合わせて、新しいプリンタケーブルの購入について案内を聞いてください。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

プリンタの電源が入っているか確認します — プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

Windows がプリンタを認識しているか確認します

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
3. **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。
4. **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。**印刷するポート** を **LPT1:プリンタポート** に設定します。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**プリンタ** をクリックします。

   プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。

2. **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。
3. **印刷先のポート** オプションが、以下のプリンタの種類に応じて設定されているか確認します。
   - パラレルプリンタ — **LPT1(プリンタポート)**
   - USB プリンタ — **USB**

プリンタドライバを再インストールします — 「ソフトウェアの再インストール」を参照してください。

プリンタを確認します — プリンタのセルフテストを実行します。テストが正常に完了しない場合、プリンタが不良の可能性があります。プリンタの製造元にお問い合わせください。

モデムおよびインターネット接続の問題

注意: モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線(ISDN)に接続した場合、モデムの故障原因となります。

注意: モデムおよびネットワークコネクタは同じように見えます。電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

以下を確認しながら、Diagnostics(診断)チェックリストに記入してください。

メモ: ISP(インターネットサービスプロバイダ)に接続できる場合、モデムは正常に機能しています。モデムが正常に機能しているのに、まだ問題が解決できない場合、ISP にお問い合わせください。

電話ジャックを確認します — 電話線をモデムから抜いて、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。プッシュホンサービスを受けているか確認します。モデムを別の電話ジャックに接続してみます。

接続速度が遅いのは、電話回線またはネットワークの状況だけでなく電話の雑音も原因となることがあります。詳細については、電話会社またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

モデムを直接電話ジャックへ接続します — 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど、同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話線を使ってモデムを直接電話ジャックに接続してみます。

接続を確認します — 電話線がモデムに接続されているか確認します。

電話線を確認します — 他の電話線を使用してみます。3 メートル以内の電話線を使用します。

聞きなれないダイヤル音 — ボイスメールサービスを受けている場合、メッセージを受けたときに聞きなれないダイヤル音がすることがあります。ダイヤル音を元に戻す手順については、電話会社にお問い合わせください。

キャッチホン機能の設定を解除します — キャッチホン機能を解除します。次に、ダイヤルアップネットワークを調整します。

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**電話とモデムのオプション** をクリックします。次に、**ダイヤル情報** タブをクリックして、**編集** をクリックします。
3. **所在地の編集** ウィンドウで、**キャッチホン機能を解除するための番号** にチェックマークが付いているか確認し、一覧でコードをクリックするか、または電話会社から提供されたシーケンスを入力します。
4. **適用** をクリックして、**OK** をクリックします。
5. **電話とモデムのオプション** ウィンドウを閉じます。
6. **コントロールパネル** ウィンドウを閉じます。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **電話とモデムのオプション** アイコンをダブルクリックします。
3. **ダイヤル情報** タブをクリックして、**編集** をクリックします。
4. **キャッチホン機能を解除するための番号** にチェックマークが付いているか確認し、一覧でコードをクリックするか、または電話会社から提供されたシーケンスを入力します。
5. **適用** をクリックして、**OK** をクリックします。
6. **電話とモデムのオプション** ウィンドウを閉じます。

モデムが Windows と通信していることを確認します —

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**電話とモデムのオプション** をクリックします。
3. **モデム** タブをクリックします。
4. モデムの COM ポートをクリックします。
5. モデムが Windows と通信していることを確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **電話とモデムのオプション** をダブルクリックします。
3. **モデム** タブをクリックします。
4. モデムの COM ポートをクリックします。
5. モデムが Windows と通信していることを確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

タッチパッドまたはマウスの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。

タッチパッドの設定を確認します —

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2. **マウス** をクリックします。
3. 設定を調整します。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **マウス** アイコンをダブルクリックします。
3. 設定を調整します。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. マウスを外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

セットアップユーティリティの設定を確認します — セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します。（コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します。）

マウスコントローラをテストします — マウスコントローラ（ポインタの動きに影響します）およびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Pointing Devices** テストグループの **Mouse** テストを実行します。

タッチパッドドライバを再インストールします —「ソフトウェアの再インストール」を参照してください。

外付けキーボードの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストを記入してください。

メモ： MS-DOS® モードで動作しているとき、あるいは Dell Diagnostics（診断）プログラムまたはセットアップユーティリティを実行するときは、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します

1. コンピュータをシャットダウンして、1 分待ってから再度電源を入れます。
2. 起動ルーチン中にキーボード上の NumLock、CapsLock、および Scroll Lock ライトの点滅状態を確認します。
3. Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム（Windows XP）**または **プログラム（Windows 2000）**、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳**をクリックします。
4. 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順を確認できない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. 外付けキーボードを取り外します
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**（または **プログラム**）、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。
5. 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

キーボードの診断テストを実行します — Dell Diagnostics（診断）プログラムの **PC-AT Compatible Keyboards** テストを実行します。テストによって外付けキーボードの問題であると表示された場合、デルにお問い合わせください。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合は、<Num Lk> を押してテンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

ドライブの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。

フロッピーディスクドライブにファイルを保存できない場合

Windows がドライブを認識しているか確認します — Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。その他のオペレーティングシステムの場合、**マイコンピュータ** をダブルクリックします。ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。起動ディスクを挿入してコンピュータを再起動します。

ディスクが書き込み禁止になっていないか確認します — 書き込み禁止になっているディスクにデータを保存することはできません。

別のフロッピーディスクを使用します — 元のディスクに問題がないことを確認するため、別のディスクを挿入します。

ドライブを再度取り付けます —

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. モジュールベイからドライブを取り外します。手順については、「モジュールベイの使い方」を参照してください。
3. ドライブを再び取り付けます。
4. コンピュータの電源を入れます。

ドライブをクリーニングします —「コンピュータのクリーニング」の手順を参照してください。

ドライブのエラーを確認します —

- ドライブのエラーメッセージが表示される場合、「エラーメッセージ」の説明を参照してください。
- 「Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方」の **Diskette** テストを実行します。

CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW を再生できない場合

メモ: 世界各国にはさまざまなファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

高速 CD ドライブの振動は異常ではなく、ノイズを引き起こすこともあります。このノイズは、ドライブや CD の異常ではありません。

Windows がドライブを認識しているか確認します — Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。その他のオペレーティングシステムの場合、**マイコンピュータ** をダブルクリックします。ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。起動ディスクを挿入してコンピュータを再起動します。

別のディスクを使用します — 元のディスクに問題がないことを確認するため、別のディスクを挿入します。

Windows で音量を調節します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ドライブを再度取り付けます

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. ドライブを取り外します。手順については、「モジュールベイの使い方」を参照してください。
3. ドライブを再び取り付けます。
4. コンピュータの電源を入れます。

ドライブまたはディスクをクリーニングしますー 「コンピュータのクリーニング」の手順を参照してください。

ドライブのエラーを確認します

ドライブのエラーメッセージが表示される場合、「エラーメッセージ」の説明を参照してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムの **IDE Drives** テストを実行します。

CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが取り出せない場合

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
3. トレイが止まるまで、慎重に引き出します。

聞きなれない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

CD-RW または DVD+RW ドライブで書き込みが止まってしまう場合

CD-RW への書き込みの前に Windows のスタンバイモードまたは休止状態モードを無効にします — Windows『ヘルプ』または Windows ヘルプとサポートセンターでスタンバイまたは休止状態というキーワードを検索します。

書き込み処理速度を低く設定します — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

実行中のその他すべてのプログラムを閉じます — CD-RW または DVD+RW に書き込む前に、実行中のその他すべてのプログラムを閉じることで、問題を回避できる場合があります。

ハードドライブに問題がある場合

コンピュータを室温に戻してから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

ドライブのエラーを確認します

- Windows のエラーチェックツールを実行します。

1. Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。Windows 2000 の場合、**マイコンピュータ** をダブルクリックします。
2. エラーが起こっているか調べるドライブのドライブ文字（ローカルディスク）を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
3. **ツール** タブをクリックします。
4. **エラーチェック** の項目の **チェックする** をクリックします。
5. **開始** をクリックします。

- Dell Diagnostics（診断）プログラムの **IDE Drives** テストを実行します。

PC カードの問題

PC カードを確認します — PC カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。
カードが Windows によって認識されているか確認します — Windows タスクバーの **ハードウェアの安全な取り外し**（または Windows 2000 の場合、**ハードウェアの取り外しまたは取り出し**）アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。
PC カードの診断テストを実行します — Diagnostics（診断）テストがカードに含まれている場合、手順については、PC カードに付属のマニュアルを参照してください。
デルから購入した PC カードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください。
デル以外から購入した PC カードに問題がある場合 — PC カードの製造元にお問い合わせください。

スマートカードの問題

スマートカードを確認します — スマートカードが正しくスマートカードスロットに挿入されているか確認します。
スマートカードが Windows によって認識されているか確認します — Windows のタスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し**（Windows 2000 の場合は **ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し**）アイコンをダブルクリックします。スマートカードが一覧表示されていることを確認します。
デルから購入したスマートカードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください。
デル以外から購入したスマートカードに問題がある場合 — スマートカードの製造元にお問い合わせください。

ネットワークの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルコネクタが、コンピュータのコネクタおよび壁のネットワークジャックにしっかりと接続されているか確認します。
ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します — 緑色に点灯している場合、ネットワークの接続に問題はありません。緑色に点灯していない場合、ネットワークケーブルを取り替えます。橙色に点灯している場合、ネットワークアダプタドライバが起動し、アダプタがアクティビティを検出しています。
コンピュータを再起動します — もう一度、ネットワークにログオンしてみます。
ネットワーク管理者に問い合わせます — ネットワーク設定が正しいこと、およびネットワークが機能していることを確認します。

プログラムの一般的な問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。

プログラムが壊れた場合

メモ： 通常、ソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 多くのソフトウェアメーカーは、問題の解決方法をウェブサイトに掲載しています。プログラムが正しくインストールおよび設定されていることを確認します。必要に応じて、プログラムを再インストールします。

プログラムが応答しなくなった場合

プログラムを終了します —

1. <Ctr><Shift><Esc> を同時に押します。
2. **アプリケーション** タブをクリックして、応答がなくなったプログラムを選択します。
3. **タスクの終了** をクリックします。

画面の表示が青一色（ブルースクリーン）になった場合

コンピュータの電源を切ります — コンピュータがキーストローク機能や正しいシャットダウン手順に反応しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを押します。次に、再度電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。

Windows XP
コンピュータが再起動します。
Windows 2000
正しい Windows のシャットダウンが実行できなかった場合、画面が青一色（ブルースクリーン）になります。起動時にスキャンディスクが自動的に実行されます。画面に表示される指示に従ってください。

エラーメッセージが表示される場合

「エラーメッセージ」を見なおします — メッセージを調べて、適切な処置を行います。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

問題がソフトウェアに関連していることを確認します — Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Board Devices** テストを実行します。デバイスグループ上のすべてのテストが正常に実行される場合、ソフトウェアに関連した問題である可能性があります。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Dell™ コンピュータが濡れた場合

警告：この手順は、必ず安全であることを確認した上で実行してください。コンピュータがコンセントに接続されている場合、回路ブレーカで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルを抜くことをお勧めします。濡れたケーブルを通電しているコンセントから抜くときは細心の注意を払ってください。

1. コンピュータをシャットダウンし、AC アダプタをコンピュータから取り外して、次に AC アダプタをコンセントから取り外します。
2. コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから取り外します。
3. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。
4. モジュールベイデバイスおよび取り付けられているすべての PC カードを取り外して、安全な場所に置いて乾燥させます。
5. バッテリーを取り外します。
6. バッテリーを拭いてから、安全な場所に置いて乾燥させます。
7. ハードドライブを取り外します。
8. メモリモジュールを取り外します。
9. ディスプレイを開き、コンピュータの表側を上にした状態で 2 冊の本や、それに代わる支えになる物の上に置いて、コンピュータ周辺の空気を循環させます。室温で乾燥した場所にコンピュータを置き、24 時間以上乾燥させます。

注意：乾燥時間を短くするため、ヘアードライヤまたはファンなどの人工的な手段は用いないでください。

警告：感電を防ぐため、コンピュータが完全に乾いていることを確認してから、次の手順に進んでください。

10. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

11. メモリモジュール、メモリモジュールカバー、およびネジを取り付けます。
12. ハードドライブを取り付けます。
13. 取り外したモジュールベイデバイスおよび PC カードを取り付けます。
14. バッテリーを取り付けます。
15. コンピュータの電源を入れて、コンピュータが正しく動作しているか確認します。

メモ： お使いのコンピュータの品質保証の詳細に関しては、『サービス＆サポートのご案内』をご覧ください。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、デルにお問い合わせください。

コンピュータを落としたり損傷を与えたりした場合

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータおよびコンセントから AC アダプタを取り外します。
3. コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから取り外します。
4. バッテリーを取り外して、再度取り付けます。
5. コンピュータの電源を入れます。

メモ： お使いのコンピュータの品質保証の詳細に関しては、『サービス＆サポートのご案内』ご覧ください。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、デルにお問い合わせください。

その他の技術的な問題の解決

デルサポートサイトにアクセスします — 一般的な使用法、手順、およびトラブルシューティングについての質問は、**suppoprt.jp.dell.com** にアクセスします。ハードウェアとソフトウェアのサポートについての説明は、「困ったときは」を参照してください。
E-メールサポート — suppoprt.jp.dell.com にアクセスします。画面左側に表示される **テクニカルサポートへのお問い合わせ** 欄にある **E-メールサポート** で、ご質問や不具合を デルのテクニカルサポートにお問い合わせください。画面左下に E-メールサポートのリンクが表示され、そこから技術的な質問や問い合わせを送信できます。ハードウェアとソフトウェアのサポートについての説明は、「困ったときは」を参照してください。
デルに電話で問い合わせます — デルサポートサイト（**suppoprt.jp.dell.com**）、または E-メールサポートで問題が解決できなかった場合、デルテクニカルサポートにお電話でお問い合わせください。ハードウェアとソフトウェアのサポートについての説明は、「困ったときは」を参照してください。

目次に戻る

目次に戻る

Dell™ QuickSet 機能

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- QuickSet アイコンのクリック
- QuickSet アイコンのダブルクリック
- QuickSet アイコンの右クリック

Dell™ QuickSet は、タスクバーにある アイコンから実行しますが、機能はアイコンをクリック、ダブルクリック、右クリックする場合でそれぞれ異なります。

QuickSet アイコンのクリック

アイコンをクリックして、以下の機能を実行します。

- **電力の管理ウィザード** を使った電源管理設定の調整。
- アイコンとツールバーのサイズの調整。
- **電力の管理ウィザード** で設定した電源設定の選択。
- プレゼンテーションモードのオンまたはオフの切り替え。

QuickSet アイコンのダブルクリック

アイコンをダブルクリックし、**電力の管理ウィザード** を使って電源管理設定を調整します。

QuickSet アイコンの右クリック

アイコンを右クリックして、以下の機能を実行します。

- 画面上の **輝度メーター** の有効化または無効化。
- 画面上の **音量メーター** の有効化または無効化。
- ワイヤレスアクティビティのオンまたはオフの切り替え。
- 『Dell QuickSet ヘルプ』の表示。
- お使いのコンピュータにインストールされている QuickSet プログラムのバージョンおよび著作権の日付の表示。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

目次に戻る

[目次に戻る]

部品の拡張および交換

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- メモリの増設
- ミニ PCI カードの追加
- ハードドライブの交換
- ヒンジカバーとキーボードの取り外し、および取り付け
- コンピュータのテレビへの接続

メモリの増設

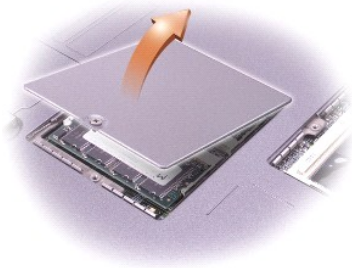
システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、「メモリ」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを追加してください。

メモ： デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

警告：Dell™ コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をお読みください。

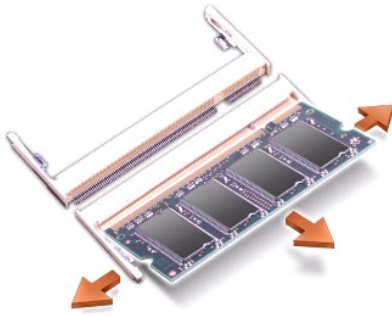
1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. 取り付けられているバッテリーを取り外し、コンピュータから AC アダプタケーブルおよび外付けデバイスを取り外します。5 秒ほど待ってから次の作業に進みます。
4. コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて身体の静電気を除去します。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を除去してください。

注意：内部のコンポーネントを破損する可能性があるので、作業中は定期的にコンピュータの塗装されていない金属面に触れて身体の静電気を除去してください。

5. コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーからネジを外し、カバーを持ち上げます。

注意：メモリモジュールコネクタの損傷を防ぐため、メモリモジュールを保護しているインナーメタルタブを広げるときには工具を使用しないでください。

6. メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。

注意：メモリモジュールの端を持ち、モジュールのコンポーネントに触れないようにしてください。

   a. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを、モジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
   b. モジュールをコネクタから取り外します。

注意：メモリモジュールを 2 つのコネクタに取り付ける必要がある場合は、メモリモジュールを、まず「JDIM（DIMMA）」のラベルが付いているコネクタに取り付け、次に「JDIM2（DIMMB）」のラベルが付いているコネクタに取り付けます。

7. 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。
   a. モジュールの切り込みをコネクタの中央にあるスロットに合わせます。
   b. モジュールの端をスライドさせてコネクタにしっかりとはめて、カチッという感触が得られるまでモジュールを押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

メモ： メモリモジュールが正しく取り付けられていないと、コンピュータは起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

8. カバーを元の位置に戻してネジを締めます。

注意：メモリモジュールカバーが閉めにくい場合は、モジュールを取り外してもう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

9. バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。
10. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

ミニ PCI カードの追加

ミニ PCI カードをコンピュータと一緒に購入された場合、デルではお客様のためにカードを前もって取り付けています。

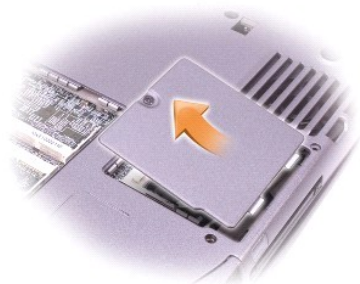
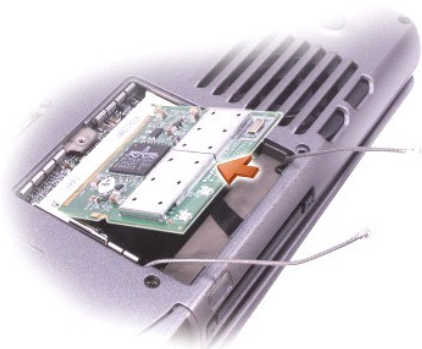
警告：FCC 規則では、ユーザーが 5-GHz（802.11a, 802.11a/b, 802.11a/b/g）ワイヤレス LAN ミニ PCI カードを取り付けることが厳しく禁止されています。いかなる状態でも、ユーザーはこのようなデバイスを取り付けないようにしてください。訓練を受けたデルサービス担当員のみが、ワイヤレス LAN ミニ PCI カードの取り付けを承認されています。

2.4-GHz（802.11b, 802.11b/g）ミニ PCI カードの取り付けや取り外しを行う場合、下記の手順に従ってください。ノートブックコンピュータでの使用を承認された製品のみ取り付けることができます。承認されたミニ PCI カードはデルでご購入ください。

メモ： 2.4-GHz ワイヤレス LAN PC カードは、ユーザーによって取り外し、取り付けが可能です。

メモ： コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。

警告：コンピュータ内部の作業をする前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

1. コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
4. 取り付けられているバッテリーを取り外し、コンピュータから AC アダプタケーブルおよび外付けデバイスを取り外します。5 秒ほど待ってから次の作業に進みます。
5. コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて身体の静電気を除去します。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を除去してください。
6. コンピュータを裏返し、ミニ PCI カードカバーからネジを外します。

7. 指をカバーの下のくぼんだ部分に置き、カバーを持ち上げてスライドさせて開きます。

8. ミニ PCI カードが取り付けられていない場合は、手順 9 に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合、既存のカードを取り外します。
   a. ミニ PCI カードに取り付けられているすべてのケーブルを外します。
   b. ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製の固定タブを広げます。
   c. ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げます。
9. ミニ PCI カードを 45 度の角度でコネクタに合わせ、ミニ PCI カードをコネクタに押し込みます。
10. ミニ PCI カードからのアンテナケーブルをコンピュータのアンテナコネクタに接続します。

注意：コネクタは、正しく取り付けられるよう差し込む向きが決まっています。無理に接続しないでください。

1	カード上のアンテナコネクタ（2）
2	アンテナケーブル（2）

11. ミニ PCI カードをインナータブの方へ約 20 度の角度にして押し下げます。
12. ミニ PCI カードがコネクタの内部タブにカチッとはまるまで、カードをさらに押し下げます。
13. カバーを取り付けます。

ハードドライブの交換

注意：データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

注意：ハードドライブはとても壊れやすく、わずかな衝撃でも破損することがあります。

警告：ドライブがまだ熱いうちにハードドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

警告：コンピュータ内部の作業をする前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

メモ： デルではデル製品以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

1. コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
4. 取り付けられているバッテリーを取り外し、コンピュータから AC アダプタケーブルおよび外付けデバイスを取り外します。5 秒ほど待ってから次の作業に進みます。
5. コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて身体の静電気を除去します。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を除去してください。
6. コンピュータを裏返します。小さなドライバを使って、ハードドライブの拘束ネジを緩めます。

1	拘束ネジ

7. コンピュータの表が上を向くように裏返します。

注意：ディスプレイを開かなければ、ハードドライブを取り外すことはできません。

8. ディスプレイを約 3 cm 開きます。

注意：ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『システム情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。

9. ハードドライブカバーをコンピュータから引き出します。
10. ハードドライブからベゼル用ネジとベゼルを取り外します。
11. パッケージから新しいドライブを取り出します。パッケージはハードドライブの保管、あるいは発送用に保管しておいてください。

12. ベゼルを新しいハードドライブにベゼル用ネジで固定します。

注意： ディスプレイを開かなければ、ハードドライブを取り外すことはできません。

13. ディスプレイが約 3 cm 開いていることを確認します。

注意： ドライブを挿入する際は、均等に力を加えてください。ハードドライブに無理に力を加えると、ハードドライブコネクタに損傷を与える恐れがあります。

14. ハードドライブカバーがベイに完全に装着されるまで、押し込みます。
15. コンピュータを裏返します。小型のスクリュードライバを使ってネジを締めます。
16. 『オペレーティングシステム CD』を使用して、コンピュータで使用するオペレーティングシステムをインストールします。
17. 『Drivers and Utilities CD』を使用して、コンピュータで使用するドライバおよびユーティリティをインストールします。

ヒンジカバーとキーボードの取り外し、および取り付け

警告： 以下の操作を実行する前に、安全に関する指示をよく読み、従って作業してください。

注意： 静電気放電からコンピューターを保護するには、接地用リストストラップを装着するか、定期的にコンピューターの塗装していない金属面（背面パネルなど）に触れて、接地してください。

1. コンピューターカバーに傷がつかないよう、作業台が水平で清潔であることを確認してください。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了した後、コンピューターをシャットダウンします。
3. コンピューターがドッキングデバイス（ドックされている）に接続されている場合は、ドック解除します。手順については、ドッキングデバイス付属のマニュアルを参照してください。
4. 取り付けているバッテリーをすべて外し、コンピューターから AC アダプターケーブルと外付けデバイスを取り外します。次に進む前に 5 秒間、間隔をあけてください。
5. コンピューターの背面の金属コネクターに触れて放電します。作業中は定期的にこの動作を行ってください。
6. コンピューターの右側を上にして置き、開きます。
7. センターコントロール（ヒンジ）カバーを取り外してください：
   a. 作業台の上でディスプレイが水平になるように、完全に（180度）開きます。
   b. コンピューターの右側から作業を開始し、プラスチックのスクライブでセンターコントロールカバーを取り外します。コンピューターから持ち上げるようにして外し、そばに置いておきます。
8. キーボードの取り付け：
   a. キーボードのトップにある M2.5 x 5 mm のネジ 2 本を取り外します。

注意： キーボードのキーキャップは壊れやすく、外れやすくなっています。取り付ける場合、時間がかかります。キーボードを取り外したり、取り扱う場合は、注意してください。

   b. キーボードを上に持ち上げ、前にスライドさせます。
   c. キーボードコネクターにアクセスできるように、キーボードを持ち上げたまま、前に動かします。
   d. キーボードコネクタータブを引き、システム基板からキーボードコネクターを取り外します。
9. キーボードとヒンジカバーを取り付ける場合、上記の手順を逆に実行してください。

メモ： キーボードを取り付ける際、パームレストに傷がつかないよう、キーボードのタブがきちんと所定の位置に収まるよう注意してください。

コンピュータのテレビへの接続

お使いのコンピュータには、S ビデオ TV 出力コネクタがありテレビに接続できます。市販の S ビデオケーブルまたはコンポジットビデオケーブルを使用すると、以下の二通りのうちのいずれかの方法で、コンピュータをテレビに接続することができます。

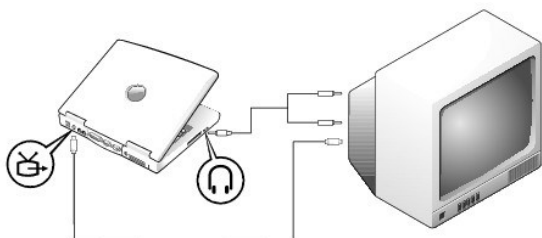
- S ビデオ（S ビデオ入力付きのテレビ用）

- コンポジットビデオ（コンポジットビデオ入力専門のテレビ。Dell 製のコンポジット TV 出力アダプタケーブル専用）

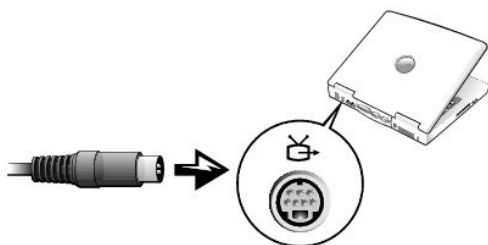
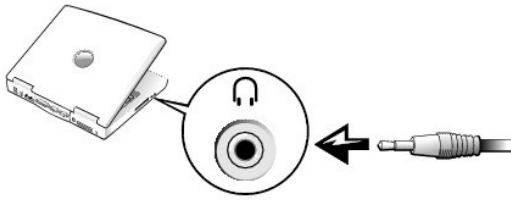
メモ： 各サブセクションのはじめに接続の組み合わせ図があるので、どの方法をお使いになるかを決める参考にしてください。

コンピュータの側面にあるオーディオコネクタは、市販のオーディオケーブルを使って、コンピュータをテレビまたはオーディオデバイスに接続することができます。

ケーブルの接続が完了したら、「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

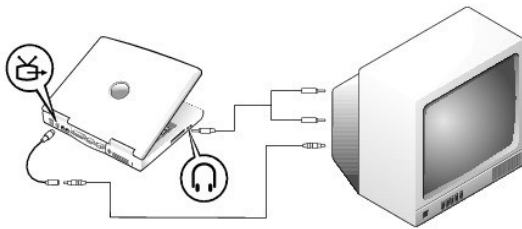
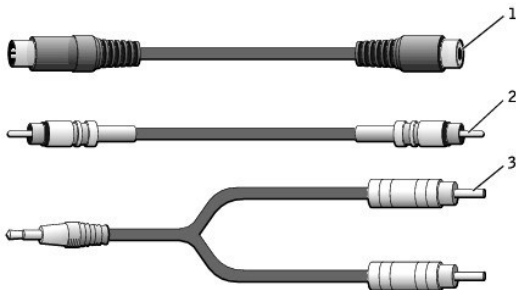
S ビデオ接続

作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

1	S ビデオケーブル
2	オーディオケーブル

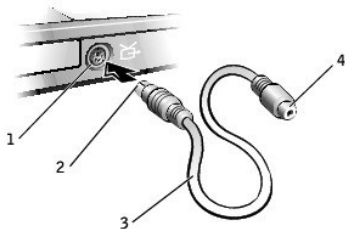
1. 接続するコンピュータ、TV、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. S ビデオケーブルの片方の端をコンピュータの S ビデオコネクタに差し込みます。

3. TV に S ビデオケーブルのもう一方の端を差し込みます。
4. コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を差し込みます。

5. TV またはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに、オーディオケーブルのもう一方の端にある 2 つの RCA コネクタを差し込みます。

6. テレビ、接続したすべてのオーディオデバイスの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

7. 「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

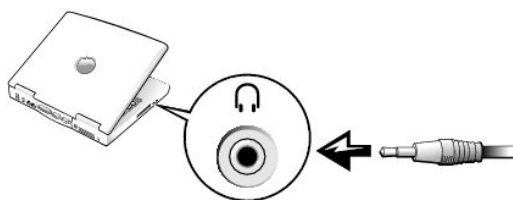
コンポジットビデオの接続

コンピュータをコンポジットビデオ入力専門のテレビに接続するには、デル製のコンポジット TV 出力アダプタケーブルを使用します。作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

1	コンポジット TV 出力アダプタケーブル
2	コンポジットビデオケーブル
3	オーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、TV、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2. コンポジット TV 出力アダプタケーブルをコンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

1	S ビデオ TV 出力コネクタ
2	S ビデオコネクタ
3	コンポジット TV 出力アダプタケーブル
4	コンポジットビデオコネクタ

3. コンポジットビデオケーブルの一方の端を TV 出力アダプタケーブルのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。

4. TV のコンポジットビデオコネクタにコンポジットビデオケーブルのもう一方の端を差し込みます。

5. コネクタが 1 つ付いているオーディオケーブルの端をコンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

6. TV またはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに、オーディオケーブルのもう一方の端にある 2 つの RCA コネクタを差し込みます。

テレビの表示設定の有効化

ATI ビデオコントローラ

メモ: 表示設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認します。

1. **コントロールパネル** ウィンドウを開きます。

   Microsoft® Windows® XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** アイコンをクリックします。**作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。

   Windows 2000 の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。

2. **画面** アイコンをダブルクリックします。**設定** タブをクリックして、**詳細設定** をクリックします。

3. **画面** タブをクリックします。

4. テレビを有効にするには、**TV** ボタンの左上の角をクリックします。

5. テレビで DVD を再生するには、**TV** の絵の左下にある小さな「プライマリ」ボタン（金的と類似）をクリックします。

メモ: さまざまなプログラムがそれぞれ違う方法でハードウェアにアクセスします。DVD を再生する以外に操作用のプライマリボタンをクリックする場合があります。

6. **適用** をクリックします。

7. **はい** をクリックし、新しい設定を保存します。

8. **OK** をクリックします。

DVD ビデオは、画面上でプライマリを設定すると表示されます。DVD が再生している間、コンピュータのディスプレイにある DVD プレイヤーウィンドウは空白か、または（DVD プレイヤーウィンドウがフルスクリーンモードで設定されている場合）コンピュータ全体の画面が空白になります。

目次に戻る

目次に戻る

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- 安全にお使いいただくための注意

安全にお使いいただくための注意

安全に関する情報については『製品情報ガイド』を参照してください。

目次に戻る

[目次に戻る]

セットアップユーティリティの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- 概要
- セットアップユーティリティ画面の表示
- セットアップユーティリティ画面
- よく使用されるオプション

概要

メモ: セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細は、お使いの Microsoft® Windows®『ヘルプ』または Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します。

- パスワードなど、ユーザーが選択可能な機能の設定および変更を行う場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

注意: 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面では、お使いのコンピュータの現在のセットアップ情報と設定が表示されます。各画面で、システムユーティリティは画面の左側に表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されています。画面の右下角には、コンピュータのシステム情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

画面は次のような情報を表示します。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- バッテリーの充電状態
- システムセキュリティおよびハードドライブのパスワード設定

よく使用されるオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** のページを使って、起動順序を管理できます。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの一般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Modular bay HDD**
- **Internal HDD**
- **CD/DVD/CD-RW drive**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）、デバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは白く表示され、小さな三角形が左側に表示されます。無効なアイテムは青、または暗く表示され、三角形は付いていません。
- デバイス一覧の順番を変更するには、デバイスをハイライト表示して、<U> または <D>（大文字と小文字を区別しない）を押して、ハイライト表示されたデバイスを上または下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータをコンセントに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。
4. 起動デバイスの一覧が表示されたら、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するとき、通常の起動順序が復元されます。

プリンタモードの変更

パラレルコネクタに接続されているプリンタやデバイスのタイプに応じて **Parallel Mode** オプションを設定します。使用する正しいモードを確認するには、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

Parallel Mode を **Disabled** に設定すると、パラレルポートとポートの LPT アドレスが無効になり、割り込みが可能になるので、別のデバイスが使用できるようになります。

COM ポートの変更

Serial Port を使って、シリアルポート COM アドレスをマップしたり、シリアルポートとアドレスを無効にできます。割り込みが可能になるので、別のデバイスが使用できるようになります。

赤外線センサーの有効化

1. セットアップユーティリティを起動します。
   a. コンピュータの電源を入れます。
   b. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。
2. **Basic Device Configuration** に **Infrared Data Port** が表示されるまで、<Alt><P> を押します。
3. 下矢印キーを押して **Infrared Data Port** の横にある **Disabled** をハイライト表示します。
4. 右矢印キーを押して、COM ポートの設定を変更します。

   選択した COM ポートが、シリアルコネクタに割り当てられている COM ポートと別のポートであることを確認します。

5. <Esc> を押して変更を保存し、セットアップユーティリティを終了します。

   コンピュータを再起動するように指示されたら、**Yes** をクリックします。

6. 赤外線センサーのドライバをインストールしている間は画面の指示に従います。
7. インストールプロセスの最後に、**Yes** をクリックしてコンピュータを再起動します。

赤外線センサーを有効にすると、赤外線デバイスとの通信を確立することができます。赤外線デバイスを設定および使用するには、赤外線デバイスのマニュアルおよび Windows ヘルプを参照してください。

目次に戻る

目次に戻る

スマートカードの使い方

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- スマートカードについて
- スマートカードの取り付け

スマートカードについて

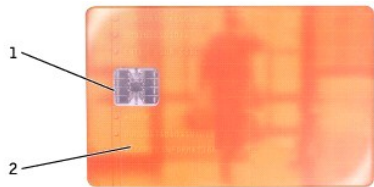
スマートカードを使用するには、スマートカードのソフトウェアの使用、またはサーバー環境では、Microsoft® Windows® PKI サポートを有効にすることが必要になります。スマートカードは集積回路が搭載された、小型で持ち運びのできる、クレジットカードと同じ形のデバイスです。スマートカードの表の面には通常、金製の導体パッドの下に内蔵マイクロプロセッサが搭載されています。スマートカードは小型で集積回路が内蔵されていますので、安全性、データストレージ、および特殊なプログラム用の便利なツールとして利用できます。スマートカードを使って、ユーザーが持っているもの（スマートカード）とユーザーが知っているもの（暗証番号）を組み合わせて、パスワードだけの場合よりも確実なユーザー認証を提供し、システムの安全性を向上することができます。

スマートカードの取り付け

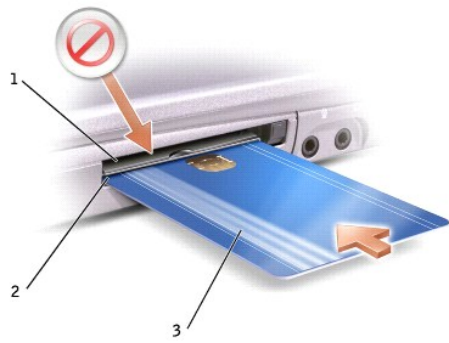
警告：コンピュータでこの手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。

コンピュータの実行中にスマートカードをコンピュータに取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

スマートカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. スマートカードスロットからスマートカードのダミーカードを取り外します。
2. 表面にある金製の導体パッドを上にしてスマートカードを持ち、スマートカードスロットに向けます。

1	金製の導体パッド
2	スマートカード（上部）

3. スマートカードがコネクタに完全に装着されるまで、カードをスマートカードスロットに差し込みます。スマートカードは、スロットから約 1 cm 突き出ます。スマートカードスロットは、PC カードスロットの下にあります。

   カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードが傾いていないかを確認して再度試してみてください。

1	PC カードスロット
2	スマートカードスロット
3	スマートカード

目次に戻る

目次に戻る

仕様

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

マイクロプロセッサ	
マイクロプロセッサの種類	Intel® Pentium® M プロセッサ
L1 キャッシュ	64 KB（32 KB インストラクションキャッシュおよび 32 KB ライトバックデータキャッシュを内蔵）
L2 キャッシュ	
1.3 GHz ～ 1.7 GHz	1 MB
1.8 GHz 以上	2 MB
外付けバスの周波数	400 MHz ソース同期プロセッサシステムバス

システム情報	
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
マイクロプロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	1 MB
グラフィックバス	64 ビット
PCI バス	32 ビット

PC カード	
カードバスコントローラ	OZ711EC1 カードバスコントローラ
PC カードコネクタ	タイプ I またはタイプ II のカードを 1 枚サポート
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅（最大）	PCMCIA 16 ビット カードバス 32 ビット

スマートカード	
読み書き機能	すべての ISO 7816 1/2/3/4 マイクロプロセッサカードに読み書き（T=0、T=1）
サポートするカード	3 V および 5 V
プログラムテクノロジサポート	Java カード
インタフェース速度	9600～15,200 BPS
EMV レベル	レベル 1 認定
WHQL 認定	PC/SC
互換性	PKI 環境で互換
取り付け / 取り出しのサイクル	100,000 サイクルまで認定

メモリ	
最小メモリ	266 MHz
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な DDR SDRAM コネクタ × 2
メモリモジュールの容量	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB
メモリのタイプ	3.3 V DDR SDRAM
標準メモリ	128 MB
最大搭載メモリ	2 GB

ポートおよびコネクタ	
シリアル	9 ピンコネクタ ― 16550C 互換、 16 バイトバッファコネクタ
パラレル	25 ピンコネクタ（メス）― 一方向、双方向、または ECP コネクタ
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）
オーディオ	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ

USB	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ × 2
赤外線センサー	IrDA Standard 1.1(Fast IR)および IrDA Standard 1.0(Slow IR)センサー
S ビデオ TV 出力	7 ピンミニ DIN コネクタ(コンポジットビデオアダプタケーブルにオプションの S ビデオ)
ミニ PCI	タイプ IIIA ミニ PCI カードスロット
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート

通信	
モデム:	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内蔵 AC'97 バス
ネットワークアダプタ	システム基板上に 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵ミニ PCI Wi-Fi(802.11b、802.11b/g、802.11a/b/g)ワイヤレスをサポート、Bluetooth™(オプション、販売の時点でのみ注文可)

ビデオ	
ビデオタイプ	64 ビットハードウェアアクセラレート
データバス	4 倍速 AGP
ビデオコントローラ	ATI Mobility RADEON 9000
ビデオメモリ	32 MB
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオおよびコンポジットモードでの NTSC または PAL

オーディオ	
オーディオタイプ	Soundblaster および Microsoft® Windows® Sound System 対応
オーディオコントローラ	Intel AC'97
ステレオ変換	20 ビット(ステレオ DA 変換) 18 ビット(ステレオ AD 変換)
インタフェース:	
内蔵	AC'97
外付け	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
スピーカー	4 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	2 W チャネル(4 Ω)
内蔵マイク	タイプ: 全方向性エレクトレット周波数: 50～10,000 Hz 感度 [S]:1ボルト / パスカルにつき -40 +/-3 デシベル(dBv/Pa)出力インピーダンス [Zo]: 2200 Ω
ボリュームコントロール	キーボードショートカットまたはプログラムメニューで ボリュームの上げ下げおよびミュートボタン

ディスプレイ	
タイプ(アクティブマトリックス TFT)	XGA;SXGA+
寸法:	
縦幅	214.3 mm
横幅	285.7 mm
対角線	357.1 mm
最大解像度 / 表示色	1024 × 768 ピクセル 16,800,000 色(XGA)、 1400 × 1050 ピクセル 16,800,000 色(SXGA+)
応答時間	立上がり 25 ミリ秒(標準) 立下がり 35 ミリ秒(最大)
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0°(閉じた状態)～ 180°
作動角度:	
水平方向	±40°
垂直方向	+10°/-30°
ピクセルピッチ	0.28 x 0.28 mm(XGA) 0.20 x 0.20 mm(SXGA+)

消費電力：	
バックライトのパネル（標準）	6.5 W (XGA) 7.0 W (SXGA+)
コントロール	輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード	
キー数	87（アメリカ、カナダ）、88（ヨーロッパ）、91（日本）
キーストローク	2.7 mm ± 0.3 mm
キースペース	19.05 mm ± 0.3 mm
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X / Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	64.88 mm（センサー感知領域）
縦幅	48.88 mm の長方形

トラックスティック	
X / Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	100 gf にて 250 カウント / 秒
サイズ	キーボードより 0.5 mm 高い

バッテリー	
タイプ	スタンダード 6 セル「スマート」リチウムイオン（48 WHr） 4 セル「スマート」リチウムイオン（32 WHr）
寸法：	
長さ	77.5 mm
縦幅	19.1 mm
横幅	123.4 mm
重量	0.32kg（6 セルバッテリー） 0.23kg（4 セルバッテリー）
電圧	11.1 VDC（6 セルバッテリー） 14.8 VDC（4 セルバッテリー）
コンピュータが切れている場合の充電時間（概算）	1 時間で 80 %充電
動作時間	動作状況によって変わります。特定の電力を多く必要とする状況では、著しく短縮されます。 バッテリーの寿命の詳細に関しては、「バッテリーの使い方」を参照してください。
寿命（概算）	300 サイクル（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0～35 ℃
保管時	-20～65 ℃

AC アダプタ	
入力電圧	90～264 VAC
入力電流（最大）	1.7 A
入力周波数	47～63 Hz
出力電流	3.34 A（常時 65 W） 4.62 A（常時 90 W）
出力電圧	65 W または 90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法：	
縦幅	28.2 mm（65 W） 34.2 mm（90 W）
横幅	57.9 mm（65 W） 60.8 mm（90 W）
奥行き	137.2 mm（65 W） 153.4 mm（90 W）
重量（ケーブル含む）	0.34 kg 0.50 kg

温度範囲:	
動作時	0°～35 ℃
保管時	-40°～65 ℃

サイズと重量	
縦幅	30.8 mm
横幅	315 mm
長さ	256.5 mm
重量:	
トラベルモジュールを取り付けた場合	2.20 kg
CD ドライブを取り付けた場合	2.34 kg

環境	
温度範囲:	
動作時	0～35 ℃
保管時	-40～65 ℃
相対湿度(最大):	
動作時	10～90 %(結露しないこと)
保管時	5～95 %(結露しないこと)
最大振動(ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時):	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.30 GRMS
最大衝撃(HDD のヘッド停止位置で 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定):	
動作時	122 G
保管時	163 G
高度(最大):	
動作時	-15.2～3,048 m
保管時	-15.2～10,668 m

目次に戻る

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

左側のリンクをクリックすると、コンピュータの機能や操作方法についての説明がご覧になれます。お使いのコンピュータに含まれるその他のマニュアルについては、「情報の検索方法」を参照してください。

メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意: ハードウェアの損傷またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。

警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語の一覧表は、「用語集」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

モデル PP05L

2009 年 9 月　　P/N 6T524　　Rev. A06

目次に戻る

ノートブックコンピュータを携帯するときは

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- コンピュータの所有者の証明
- コンピュータの梱包
- 携帯中のヒントとアドバイス

コンピュータの所有者の証明

- 名札または名刺をコンピュータに付けるか、または油性マジックやステンシルなどを使って、所有者であることを識別できる固有の印（運転免許証の番号など）をコンピュータに付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭ったりした場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® デスクトップに、**PC の所有者** というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせて、ID タグコードを発行しているかを確認します。

コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。PC カードに接続されているすべてのケーブルを外し、すべての拡張型 PC カードを取り外します。
- コンピュータをなるべく軽くするため、モジュールベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールを取り付けます。
- バッテリーの駆動時間を最大にするには、メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
- コンピュータをシャットダウンします。
- AC アダプタを取り外します。

注意：ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合は、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリームやコロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。
- コンピュータ、バッテリー、およびハードドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。

注意：低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間程室温にならしてから電源を入れてください。

- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

注意：コンピュータを荷物として預けないでください。

携帯中のヒントとアドバイス

注意：オプティカルドライブを使用しているときは、コンピュータを動かさないでください。データを損失する恐れがあります。

- バッテリーの時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にしてみます。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、<Fn><F2> を押します。
- バッテリーの時間を最大にするために、電源管理のオプションの設定を変更してみます。

- 海外にコンピュータを携帯する場合、通関で所有や使用権を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商用パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。

- 国によっては電源が頻繁に途絶えることがあります。海外では充電したバッテリーを常に携帯してください。

- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピューターユーザーに提供していますのでご確認ください。

航空機の利用

- 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリーか、AC アダプタと電源ケーブルを携帯してください。

注意：コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X 線探知機に通すか、手検査を依頼してください。

- 機内でコンピュータを使う場合、使用が許可されているかどうかを機内雑誌などで確認するか、乗務員にお尋ねください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合

- 警察に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータの説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったら控えておきます。できれば、応対した担当者の名前も尋ねておきます。

メモ： コンピュータを紛失した場所または盗難された場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。

- コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。

- デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

目次に戻る

[目次に戻る]

ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）への接続

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

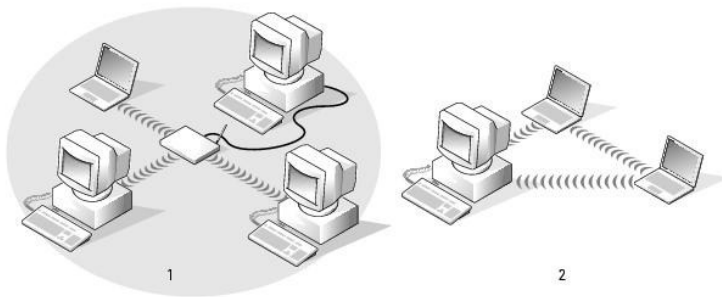
- ネットワークタイプの決定
- Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続

メモ: これらのネットワークについての説明は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適応しません。

メモ: Windows 2000 オペレーティングシステムを実行するワイヤレスコンピュータを設定する場合は、ワイヤレスネットワークアダプタに付属の『ユーザーズガイド』を参照してください。

ネットワークタイプの決定

メモ: ほとんどのワイヤレスネットワークは、インフラタイプです。

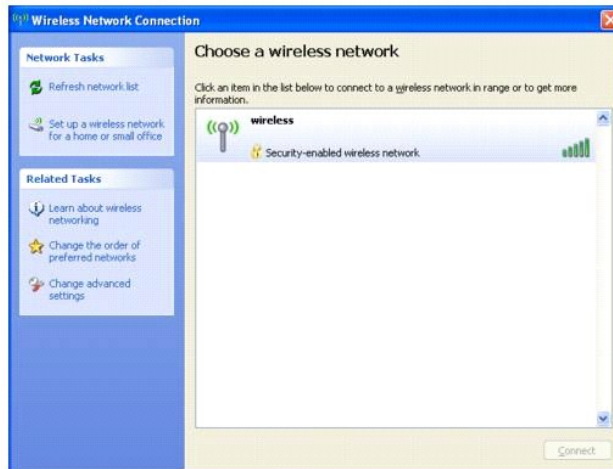
ワイヤレスネットワークは、インフラネットワークとアドホックネットワークという 2 つのカテゴリに分類できます。インフラネットワークは、ルーターまたはアクセスポイントを使用して、複数のコンピュータを一つに接続します。アドホックネットワークは、ルーターやアクセスポイントを使用せず、相互にブロードキャストするコンピュータで構成されています。

1	インフラネットワーク
2	アドホックネットワーク

Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。ソフトウェアが削除されているか、破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーズガイドにある手順に従ってください。このユーザーズガイドは、『Drivers and Utilities CD』（コンピュータに同梱）の「User's Guides-Network ユーザーズガイド」カテゴリにあります。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト（ **support.jp.dell.com**）からも入手できます。

コンピュータの電源を入れると、コンピュータが設定されている地域以外でネットーワークが検出された場合、その都度通知領域にあるネットワークアイコンからポップアップが表示されます。

1. ポップアップまたはネットワークアイコンをクリックして、使用可能なワイヤレスネットワークの 1 つにコンピュータを設定します。

   ワイヤレスネットワーク接続 ウィンドウに、そのエリアで使用可能なワイヤレスネットワークが表示されます。

2. 設定するネットワークをクリックして選択してから **接続** をクリックするか、またはリスト上のネットワーク名をダブルクリックします。セキュアネットワーク（ アイコンで識別されます）を選択した場合は、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。

メモ： ネットワークセキュリティ設定は、お使いのネットワークに固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

お使いのネットワークは自動的に設定されます。

メモ： コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

選択したワイヤレスネットワークへのコンピュータの構成が終了すると、もう一度ポップアップが表示されて、選択したネットワークにお使いのコンピュータが接続されていることが通知されます。

これ以降は、ワイヤレスネットワークのエリアでコンピュータにログオンすると、その都度同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワーク接続であることを通知します。

目次に戻る

目次に戻る

Microsoft® Windows® XP について

Dell™ Latitude™ D600 システムユーザーズガイド

- ヘルプとサポートセンター
- クラシック表示への切り替え
- デスクトップクリーンアップウィザード
- ファイルと設定の転送ウィザード
- プログラム互換性ウィザード
- ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え
- 家庭用および小企業用ネットワーク
- インターネット接続ファイアウォール

ヘルプとサポートセンター

ヘルプとサポートセンターは、Windows XP オペレーティングシステムおよびその他のサポートツールや教育ツールのヘルプを提供しています。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。

クラシック表示への切り替え

コントロールパネル、**スタート** メニュー、および Windows デスクトップの表示を、従来の Windows オペレーティングシステムのクラシック表示に変更することもできます。

コントロールパネル

コントロールパネルの情報はタスク指向型カテゴリとして表示されています。今までのアイコンを使ってコントロールパネルで特定のタスクを実行する方が慣れている場合は、アイコンを使ったクラシック表示に切り替えることができます。

1. **スタート** ボタンをクリックして **コントロールパネル** をクリックします。
2. **コントロールパネル** ウィンドウの左上にある **クラシック表示に切り替える**、または **カテゴリ表示に切り替える** をクリックします。

スタートメニュー

1. タスクバーの何もない部分を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **[スタート] メニュー** タブをクリックします。
4. **クラシック [スタート] メニュー** を選んで、**OK** をクリックします。

ウィンドウとボタンのデザイン

1. メインデスクトップ画面上で右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2. **デザイン** タブをクリックします。
3. **ウィンドウとボタン** ドロップダウンメニューから、**Windows クラシックスタイル** を選びます。
4. 色、フォント、および他のクラッシックデスクトップオプションをカスタマイズするには、**詳細設定** をクリックします。
5. デザインの選択が終了したら、**OK** をクリックします。

デスクトップクリーンアップウィザード

デフォルトで、デスクトップクリーンアップウィザードは、コンピュータを最初に起動してから 7 日後に(その後は 60 日おきに)、あまり使用されないプログラムを指定のフォルダに移動します。プログラムが移動すると、**スタート** メニューの外観が変わります。

デスクトップクリーンアップウィザードを終了するには、次の手順を実行します。

1. デスクトップ上の何もない場所を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2. **デスクトップ** タブをクリックして、**デスクトップのカスタマイズ** をクリックします。
3. **60 日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する** をクリックして、チェックマークを外します。

4. **OK** をクリックします。

デスクトップクリーンアップウィザードを実行するには（いつでも実行できます）、次の手順を実行します。

1. デスクトップ上の何もない場所を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2. **デスクトップ** タブをクリックして、**デスクトップのカスタマイズ** をクリックします。
3. **デスクトップをクリーンアップする** をクリックします。
4. **デスクトップクリーンアップウィザードの開始** が表示されたら、**次へ** をクリックします。
5. ショートカットの一覧で、デスクトップ上に残しておきたいショートカットのチェックマークを外して、**次へ** をクリックします。
6. **完了** をクリックします。チェックマークを残したショートカットが移動し、ウィンドウが閉じます。

ファイルと設定の転送ウィザード

ファイルと設定の転送ウィザードを使うと、古いコンピュータで以前のオペレーティングシステムを実行している場合でも、コンピュータ間でファイルと設定を転送することができます（たとえば、新しいコンピュータに買い換えた場合など）。データの収集と転送にかかる時間は、収集するデータ量によって異なります。これには数分間から数時間かかることがあります。

新しいコンピュータにネットワークまたは直接シリアル接続を介してデータを移行するか、フロッピーディスク、または書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアに保存します。CD ドライブが利用できない場合、ウィザードを使って、古いコンピュータ上で実行するウィザードディスクを作成することができます。

詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターを参照してください。

プログラム互換性ウィザード

以前の Windows オペレーティングシステム用に設計されたプログラムを実行していて問題が発生した場合、プログラム互換性ウィザードを使って問題解決に役立てることができます。プログラム互換性ウィザードを使って、Windows 95、Windows 98、Windows Millennium Edition（Me）、Windows NT® 4.0 Service Pack 5、または Windows 2000 に近い環境でプログラムを実行するよう設定することができます。

インストール後にオペレーティングシステムや他のプログラムに問題が発生した場合、システムの復元機能を使って以前の安定した状態にコンピュータを戻すことができます。

詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターを参照してください。

ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え

ユーザーの簡易切り替えを使うと、複数のユーザーがコンピュータにアクセスできます。ユーザーがデスクトップや各種プログラムを含む自分の設定でコンピュータにログオンした後、他のユーザーがログオンする場合も、元のユーザーはログオフする必要はありません。新しいユーザーはログオンしてから元のユーザーのセッションを自分自身のセッションに切り替えます。新しいユーザーは、元のユーザーのじゃまにならないようにしてデスクトップとプログラムを実行できます。元のユーザーはデスクトップとプログラムを元の設定に切り替えることができます。詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターを参照してください。

ユーザーの簡易切り替えに対する考慮

- メモリ構成が低いコンピュータでは、問題が発生することがあります。前のユーザーが実行していたプログラムはバックグラウンドで使用され続けるため、コンピュータの応答が遅くなることがあります。RAM が 128 MB 未満のコンピュータでは、ユーザーの簡易切り替えはデフォルトではオフになっています。
- Windows XP Professional でコンピュータがドメインのメンバーである場合、ユーザーの簡易切り替えはできません。

家庭用および小企業用ネットワーク

ネットワークセットアップウィザードでは、家庭用または小企業用ネットワークのセットアップに対するオンラインマニュアルとサポートを提供しています。新しいウィザードでは、パーソナルファイアウォールが自動的に有効になります（「インターネット接続ファイアウォール」を参照）。

ネットワークセットアップウィザードには、家庭または小企業のコンピュータ間でファイル、プリンタ、またはインターネット接続などのリソースの共有処理を説明するチェックリストと手順が含まれています。詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターを参照してください。

インターネット接続ファイアウォール

インターネット接続ファイアウォールでは、インターネット接続時に、許可されていないユーザーのコンピュータへのアクセスに対する基本的な保護が提供されます。ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。ネットワーク接続にファイアウォールが有効になると、**コントロールパネル** の **ネットワーク接続** に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されます。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしても、ウイルス対策ソフトウェアは必要です。

詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターを参照してください。

目次に戻る